

水産業の動き

2023



2021年 あさり類
(2,364t、全国1位)

2021年 がざみ類
(532t、全国1位)

食と緑の基本計画 2025 の施策体系

食と緑が支える県民の豊かな暮らし

《柱1：生産の柱》持続的に発展する農林水産業の実現

(1) 意欲ある人材の確保・育成

- ア 農業を支える多様な人材の確保・育成
- イ 林業を支える担い手の確保・育成
- ウ 水産業を支える担い手の確保・育成

(2) 生産性の高い農林水産業の基盤を作る取組の充実

- ア 新技術・新品種の開発と普及
- イ 農林水産業を支える生産基盤の整備と環境づくり
- ウ 産地の体制や生産設備の強化
- エ 食の安全・安心の確保

(3) 新たな需要を創造し持続可能な農林水産業の実現

- ア マーケット・インの視点に立った生産・流通の改善
- イ 農林水産物等に関する国内外での需要の開拓
- ウ 環境との調和に配慮した持続可能な農林水産業

《柱2：暮らしの柱》農林水産の恵みを共有する社会の実現

(1) 農林水産業を理解し身近に感じる活動の推進

- ア 県産農林水産物への理解を深める取組の推進
- イ あいちの農林漁業を応援・体験し参加する機会の提供
- ウ 幅広い世代に対する食育の推進

(2) 災害に強く安全で快適な環境の確保

- ア 農山漁村の強靱化に向けた防災・減災対策
- イ 快適な生活環境の確保
- ウ 暮らしを支える森林・農地・漁場の整備・保全

(3) 地域住民や関係人口によって支えられる活力ある農山漁村の実現

- ア 地域の特性に応じた農山漁村の活性化
- イ 多面的機能の持続的な発揮につながる活動の推進

はじめに

伊勢湾・三河湾は、古来より魚介類の宝庫として知られ、我々の祖先も古くから、豊かな海の恵みを享受してきました。現在でも本県は、総生産量こそ全国中位ではありますが、多くの魚種において全国有数の産地となっており、沿岸域を中心に特色ある水産業が営まれています。

そして、多種多様な水産物を供給する本県の水産業は、豊かで健康的な日本型食生活の構築や食文化の継承など、県民の皆様の暮らしに重要な役割を果たしています。

しかし、水産業を取りまく環境は年々厳しさを増しており、海域の栄養塩類の減少を始めとする水産資源の減少や沿岸の各種開発に伴う漁場の喪失、就業者の高齢化や新規就業者の減少等の諸問題に加え、近年では、昨今の国際情勢に伴い燃油価格の高騰が続くなど、本県の漁業を取り巻く環境は、厳しさを増しております。

こうした中、本県では2021年3月に「愛知県漁業振興計画」を策定し、この計画に基づき、将来に向けて本県の水産業が持続的に発展していくための必要な施策に取り組んでいるところです。

本書は、各種施策を効果的に実施するための基礎資料とするとともに、広く関係者に利用していただくため、県内水産業の動向を総合的にとりまとめたもので、1961年度から刊行を続けており、2010年度からは電子データで公表しています。

皆様に、本県水産業に対する理解を深めていただくとともに、水産業振興の一助としてご活用いただければ幸いです。

2023年11月

愛知県農業水産局長

主な統計用語の説明

1 漁業経営体

(1) 海面

漁業及び養殖業を含みます。調査期日（最新数値は2021年11月1日）前1年間に、利潤又は生活の資を得るため販売を目的として、水産動植物の採捕又は養殖の事業を行った世帯または事業所をいいます。（ただし、年間の海上作業従事日数が30日未満の個人経営体は除かれています。）経営体は、5年に1回の漁業センサスで調査されています。

(2) 内水面（養殖業）

調査期日（最新数値は2021年11月1日）前1年間に、利潤又は生活の資を得るために内水面において販売を目的として計画的かつ持続的に投餌または施肥を行い、養殖用または放流用種苗の養成もしくは成魚を養成した世帯及び事業所をいいます。なお、調査対象は主要4魚種（ます類、あゆ、こい、うなぎ）のみです。5年に1回の漁業センサスで調査されています。

2 漁業就業者

海面漁業及び養殖業を含みます。調査期日（2021年11月1日）現在満15歳以上で、過去1年間に漁業の海上作業に30日以上従事した人をいいます。5年に1回の漁業センサスで調査されています。

3 生産量

(1) 海面

海面漁業漁獲量、海面養殖業収穫量の総称で、乗組員の船内食用、自家用、自家加工用、販売活餌等を含みます。全ての水産動植物の採捕時の原形重量であり、藻類は採捕時の生重量、貝類は殻付の重量です。

(2) 内水面漁業

河川・湖沼において採捕された水産動植物の量をいいます。本県の数値は、天然産種苗の採捕量及び自家用を含むほか、漁業権が設定されている全ての河川・湖沼における組合員・遊漁者の採捕量を含みます。一方、全国数値は2006年以降、販売を目的として漁獲した数量となり、2009年から、漁業権等が設定された年間漁獲量50t以上の河川及び湖沼並びに国の施策上毎年の調査が必要な河川及び湖沼（108河川21湖沼）に限定され、本県内の調査対象河川は主要河川（本県は4河川）のみです。なお、貝類の数値は内水面漁業生産統計調査の数値を用いています。

(3) 内水面養殖業

内水面養殖業経営体が食用を目的に収穫した量をいいます。自家用を含みますが種苗販売量は含めません。なお、調査対象は主要4魚種（ます類、あゆ、こい、うなぎ）のみです。

4 産出額

調査で得られた魚種別生産量に、魚種別産地市場価格を乗じて算出したものです。生産者の手取価格ではなく、販売手数料、輸送費等の販売諸経費を控除せず、また歩戻しを含めない、いわゆる産地市場価格です。2015年度数値から、国の統計用語が「生産額」から「産出額」に改められました、内容は従前と同じです。

なお、内水面の産出額は2003年の統計から調査対象外となったため、県水産課が生産量と全国平均単価により推計しています。

5 水産加工品（加工水産品）

水産動植物を主原料（50%以上）として製造された食用加工品及び生鮮冷凍水産物をいいます。なお、2001年調査から生鮮冷凍水産物のうち海産ほ乳類及び塩蔵品等、並びに寒天、油脂、飼肥料の調査が中止されました。

記号

「-」：事実のないもの「0」：単位に満たないもの「…」：事実不詳又は調査を欠くもの
「x」：統計法の規定により、秘密保護上統計数値を公表しないもの

[水産業動向編]

目 次

1 愛知の水産業	
○愛知県水産業の主要指標	1
○県内産業のなかの水産業	2
○本県水産業の全国位置	3
2 漁業経営	
○漁業経営体の動向	4
○水産業協同組合の動向	5
3 漁業生産の基盤	
○漁船・漁港の動向	6
○漁場・漁村の動向	7
○漁場環境の動向	8・9
○栽培漁業の動向	10
○資源管理の動向	11
4 漁業生産	
○漁業総生産の動向	12
○海面漁業生産の動向	13
○海面養殖生産の動向	14
○内水面漁業・養殖業の動向	15
5 流通加工	
○水産物流通の動向	16
○水産物輸出入の動向	17
6 技術の開発・普及	
○試験研究の動き	18
○水産試験場の研究成果	19
7 時の話題	
○水産流通適正化制度について	20・21
○水質保全と「豊かな海」の両立に向けた社会実験について	22・23
○新規就業者確保推進事業について	24・25
○漁獲成績報告が電子化されました（漁獲デジタル化推進事業）	26・27
○日間賀島及び大濱漁協の製氷・貯氷施設が完成しました	28・29
[資料編]	30～50

1 愛知の水産業

愛知県水産業の主要指標

区 分	単 位	愛 知 県			全 国		備 考
		2016年	2021年	21年/16年	2021年	21年/16年	
海面漁業経営体(A)	経営体	(13年)2,348	(18年)1,924	81.9	(18年)79,067	83.7	漁業センサス
海面個人経営体(B)	経営体	(13年)2,261	(18年)1,849	81.8	(18年)74,526	83.3	漁業センサス
(漁家率B/A)	%	96	96	—	94	—	
海面漁業就業者数	人	(13年)4,319	(18年)3,373	78.1	(18年)151,701	83.8	漁業センサス
内水面養殖経営体	経営体	(13年)290	(18年)214	73.8	(18年)2,704	86.4	漁業センサス
漁船総隻数	隻	4,887	3,972	81.3	213,690	87.4	漁船統計表
海水動力船	隻	4,680	3,833	81.9	202,235	87.4	漁船統計表
海水無動力船	隻	37	28	75.7	3,347	83.7	漁船統計表
淡水動力船	隻	85	66	77.6	5,552	85.0	漁船統計表
淡水無動力船	隻	85	45	52.9	2,556	97.7	漁船統計表
漁業総生産量	t	97,313	67,875	69.7	4,214,832	96.7	全国値には捕鯨を含まない
海面漁業	t	77,711	52,835	68.0	3,236,480	99.2	
海面養殖業	t	13,330	8,264	62.0	926,594	89.7	
(のり生産枚数)	千枚	340,099	202,422	59.5	6,469,661	83.0	
内水面漁業	t	145	64	44.1	18,904	67.7	愛知県は県水産課調べ
内水面養殖業	t	6,127	6,712	109.5	32,854	93.3	きんぎよは含まない
きんぎよ	千尾	8,495	4,810	56.6	—	—	県水産課調べ(*1)
漁業総産出額	百万円	38,379	37,519	97.8	1,379,147	87.0	全国値には捕鯨を含む(*2)
海面漁業	百万円	14,406	13,472	93.5	806,664	83.9	全国値には捕鯨を含む
海面養殖業	百万円	4,488	2,020	45.0	451,470	88.6	
内水面漁業	百万円	328	197	60.1	15,395	77.9	愛知県は県水産課調べ
内水面養殖業	百万円	19,157	21,830	114.0	105,617	112.3	愛知県はきんぎよ(県水産課調べ)を含む(*3)

資料：特に注釈があるもの以外は農林水産統計（海面漁業生産統計調査、内水面漁業生産統計調査）

(*1)：前年12月1日から当該年11月30日までの集計値。

(*2)：小数第1位を四捨五入することにより、合計値と一致しないことがある。

(*3)：愛知県の内水面の産出額については、県水産課が全国平均単価を基に推計した。

県内産業のなかの水産業

●水産業の純生産は143億円で10.9%減少

あいちの県民経済計算によると、2020年度の県内全産業の純生産は25兆4,472億円で、前年度に比べ6.8%減少しました。

第1次産業のうち、2020年度の水産業の純生産は143億円で前年度に比べ10.9%減少し、全産業に占める割合は0.06%となっています（A、B図）。

●水産業就業者は全産業就業者の0.1%

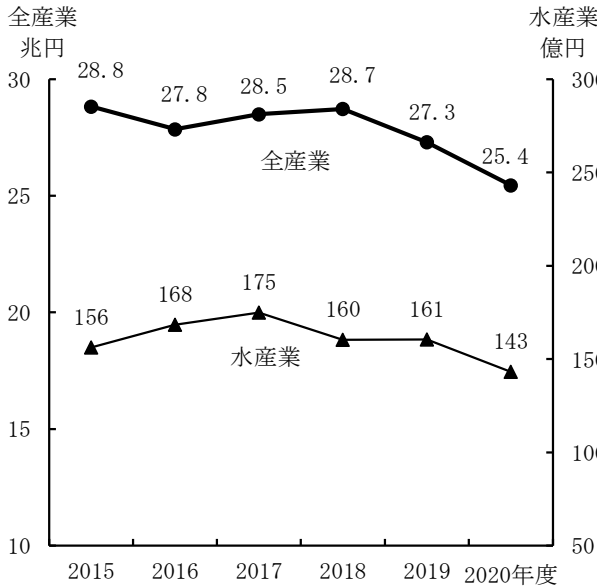
あいちの県民経済計算によると、2020年度的全産業の就業者数（従業地ベース）は4,174千人で前年度に比べ0.2%の減少、第1次産業は80.2千人で前年度に比べ0.8%の減少となっています。

このうち水産業の就業者数は3,590人で、前年度に比べ4.5%、5年前に比べて21.2%の減少となりました（C図）。水産業就業者数の全産業に占める割合は0.1%、第1次産業に占める割合は4.5%となっています。

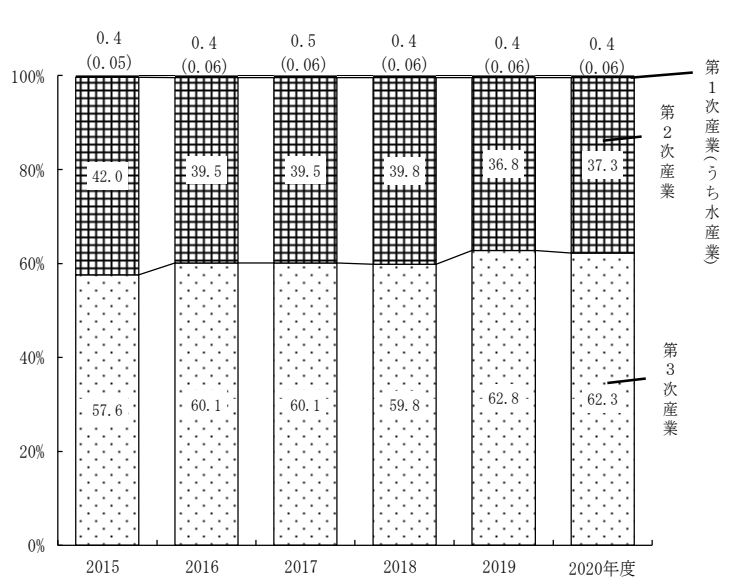
●水産業就業者1人当たりの純生産は約399万円

2020年度的全産業の就業者1人当たりの純生産は610万円で前年度に比べ6.6%減少しました。水産業では399万円で前年度に比べ6.6%減少しており、第1次産業全体の130万円の約3.1倍となっています（D図）。

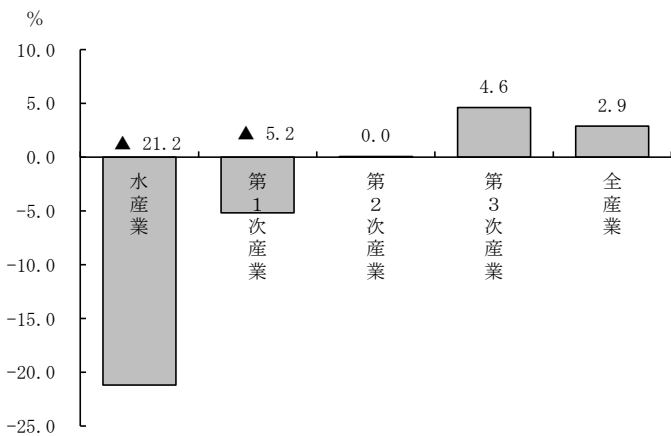
A図 純生産の推移



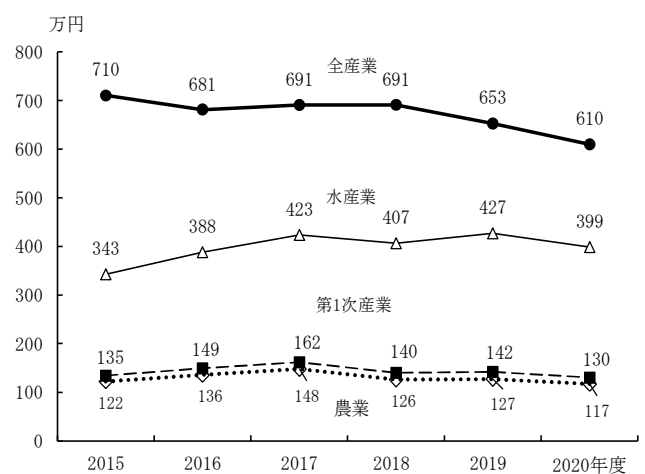
B図 県内総生産の産業別構成の推移



C図 産業別就業者の動向 (2020/2015年度)



D図 就業者1人当たりの純生産の推移



(資料 あいちの県民経済計算 (A~D図))

本県水産業の全国位置

海面漁業・養殖業において本県の生産量は全国で第22位、産出額は第24位となっていますが（A表）、多くの漁業種類や魚種で上位を占めているのが特色です。

漁業種類別では、小型底びき網、船びき網が盛んで、これらの生産量は全国的にもトップレベルにあります。

魚種別では、くるまえび、がざみ類、あさり類、あゆ養殖が第1位、しらす、くろだい、うなぎ養殖、きんぎょ養殖が第2位、にぎす類が第3位となっています。全国シェアでは、あさり類が48.0%、くるまえびが31.5%、がざみ類が29.7%、あゆ養殖が31.9%、うなぎ養殖が25.6%と高くなっています（B表）。

A表 愛知県水産業の全国順位（2021年）

海面漁業・養殖業生産量*1			海面漁業・養殖業総産出額		
順位	県名	(t)	順位	県名	(億円)
全国		4,163,074	全国		12,552
1位	北海道	1,018,914	1位	北海道	2,569
2位	茨城	299,686	2位	長崎	936
3位	長崎	270,736	3位	愛媛	850
4位	宮城	267,356	4位	鹿児島	658
5位	静岡	251,671	5位	宮城	655
6位	青森	146,751	6位	静岡	507
7位	愛媛	142,307	7位	高知	468
8位	三重	128,011	8位	青森	447
9位	宮崎	114,395	9位	兵庫	412
10位	広島	113,247	10位	三重	393
22位	愛知	61,099	24位	愛知	155

*1 茨城県は海面養殖業が秘匿値のため、海面漁業のみの数値。

（資料 海面漁業生産統計調査）

B表 主要な漁業種類・品目の全国順位（2021年）

漁業種類・品目	1位	2位	3位	4位	5位	全国	本県シェア(%)
小型底びき網 (t)	北海道 365,677	兵庫 6,931	愛媛 5,655	愛知 4,931	千葉 3,758	421,399	1.2%
船びき網 (t)	愛知 34,707	兵庫 21,852	三重 17,293	広島 14,316	愛媛 8,252	153,410	22.6%
かたくちいわし(t)	長崎 25,337	三重 13,646	広島 12,542	愛媛 11,639	愛知(6位) 7,030	119,206	5.9%
しらす (t)	兵庫 19,834	愛知 9,619	静岡 5,867	大阪 5,196	茨城 3,457	68,682	14.0%
にぎす類 (t)	石川 764	島根 299	愛知 272	新潟 247	鳥取 147	2,133	12.8%
あなご類 (t)	長崎 511	島根 460	宮城 199	福岡 195	愛知(9位) 99	2,515	3.9%
まだい (t)	兵庫 2,245	長崎 1,993	福岡 1,519	愛媛 1,358	愛知(6位) 710	16,138	4.4%
くろだい(t)	兵庫 351	愛知 220	大阪 155	広島 152	福岡 147	2,147	10.2%
すずき類 (t)	千葉 1,495	兵庫 678	宮城 385	愛知 266	神奈川 257	5,892	4.5%
くるまえび (t)	愛知 67	愛媛 52	大分 17	福岡 17	長崎 15	213	31.5%
がざみ類 (t)	愛知 532	宮城 357	福岡 184	長崎 131	熊本 89	1,793	29.7%
あさり類 (t)	愛知 2,364	北海道 1,750	三重 195	千葉 138	長崎 123	4,928	48.0%
のり養殖 (千枚)	佐賀 1,518,339	福岡 1,352,157	兵庫 1,150,845	熊本 953,777	愛知(6位) 202,422	6,193,618	3.3%
うなぎ養殖 (t)	鹿児島 8,772	愛知 5,288	宮崎 3,554	静岡 1,557	高知 370	20,673	25.6%
あゆ養殖 (t)	愛知 1,247	岐阜 838	和歌山 580	栃木 308	滋賀 271	3,909	31.9%
きんぎょ養殖(千尾)	奈良 51,842	愛知 4,810	-	-	-	-	-

注)きんぎょ養殖は県水産課調べ。

愛知県きんぎょは、2020年12月1日から2021年11月30日までの集計値のため、単純比較はできない。

（資料 海面漁業生産統計調査、内水面漁業生産統計調査、県水産課調べ）

2 漁業経営

漁業経営体の動向

●海面漁業経営体は1,924経営体（2018年漁業センサス）

2018年の海面漁業経営体数(養殖業を含む・年間の海上作業日数が30日未満のものを除く)は1,924経営体となっています。主な漁業種類別では最も多いのが採貝・採藻の536経営体で27.9%を占め、以下小型底びき網388経営体(20.2%)、刺網193経営体(10.0%)が上位を占めています。

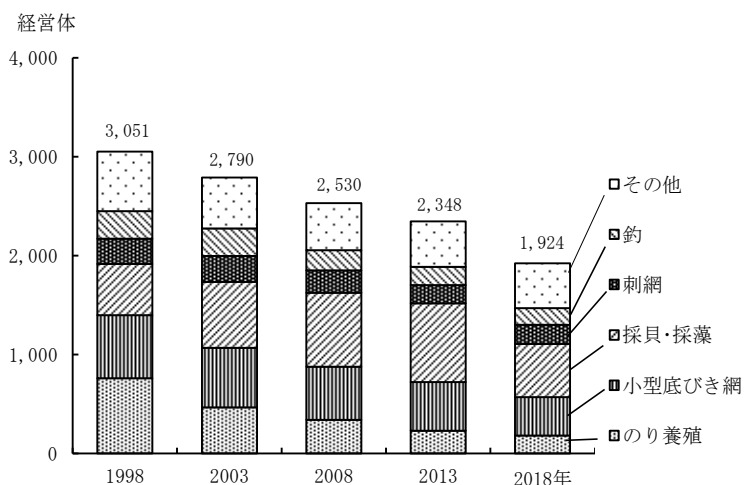
また、海面漁業経営体数は、5年前に比べ424経営体(18.1%)の減となっています(A図)。

●内水面養殖業経営体数は234経営体（県水産課調べ）

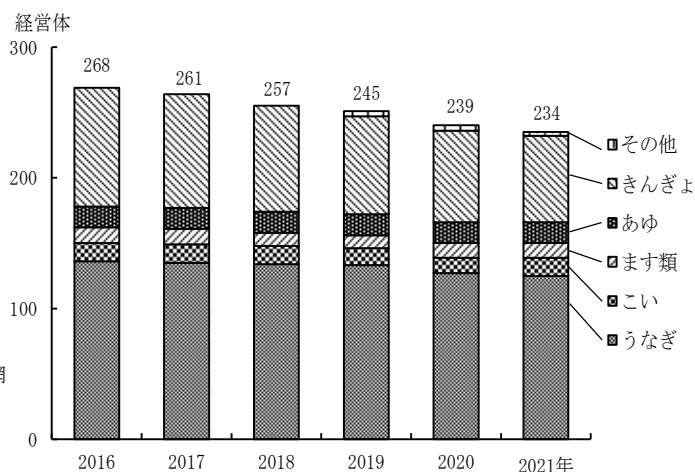
2021年のきんぎょを含めた内水面養殖業の経営体数は234経営体となっています。主な養殖業種類別では最も多いのがうなぎ養殖の125経営体で53.4%と半数を占めています。

また、内水面養殖業経営体数は、5年前に比べ34経営体(12.7%)の減少となっています(B図)。

A図 海面漁業・養殖業種類別経営体数(30日未満を除く)の推移



B図 内水面養殖業種類別経営体数の推移

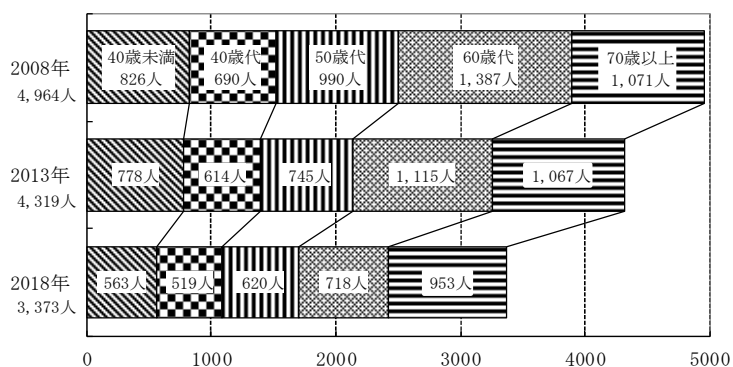


C図 海面漁業の就業者数の推移

●漁業就業者数は3,373人（2018年度）

2018年(第14次)漁業センサスによると、2018年の愛知県の海面漁業の就業者数は3,373人で、5年前の4,319人と比べると946人(21.9%)減少しています(C図)。

就業者の年齢別内訳は、50歳以上の層が約7割を占め、中でも70歳以上は953人で全体の28.3%を占めており、漁業就業者の高齢化が年々深刻となっています。



(資料 漁業センサス(A、C図)、県水産課調べ(B図))

●新規漁業就業者数は13人（県水産課調べ）

県では、各漁業協同組合の協力により新規漁業就業者の調査を毎年行っています。その結果によると、2021年度は全県で13人の新規就業者があり、知多地区が8人、西三河地区が2人、東三河地区が3人となっています。新規就業者は減少傾向にあり、漁場環境の変化等により、水産資源の変動が大きくなったため、漁業経営が不安定になっていることが要因の一つと考えられます。

水産業協同組合の動向

●組合員数、販売事業取扱高ともに減少傾向

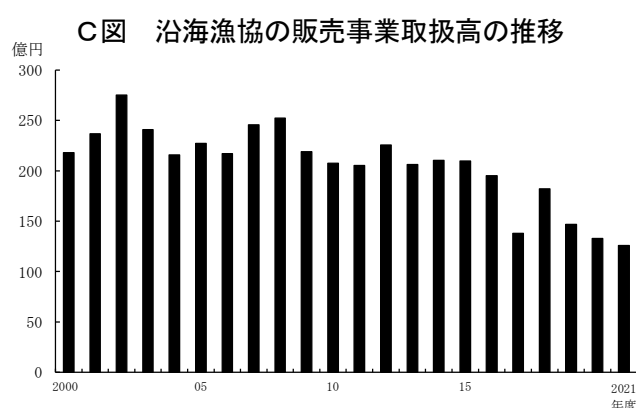
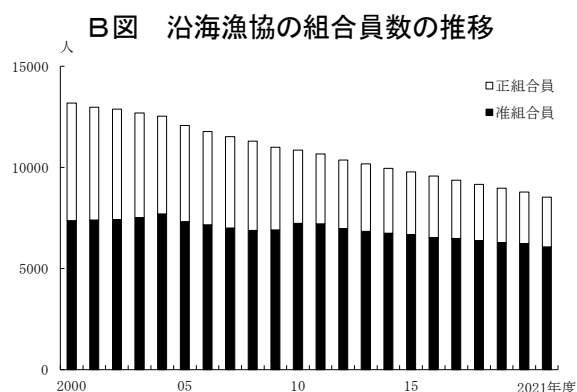
水産業協同組合法に基づいて設立された組合は、1960年の134組合をピークに、解散や合併によって減少し、2021年1月1日現在の組合数は53、連合会2となっています。単位組合の組合員数は1989年度（32,830人）以降、毎年減少しており、2021年度には13,569人となっています（A表）。このうち沿海漁協の正組合員数は2,477人で、10年前に比べ28.8%減少しています（B図）。また、本県では正組合員数が200人未満の小規模な組合が全体の86%を占めています。

沿海漁協の主要事業である販売事業の取扱高は、高度経済成長とともに増加しましたが、1990年の378億円をピークに減少傾向となりました。なお、2021年は126億円で、10年前に比べ38.6%減少しています（C図）。

少子高齢化社会の進行、水産資源の減少、消費者の魚離れなど、漁協経営を取り巻く環境が厳しさを増していることから、早急に将来を見越した経営基盤の強化が必要となっています。

A表 本県の水産業協同組合の概況

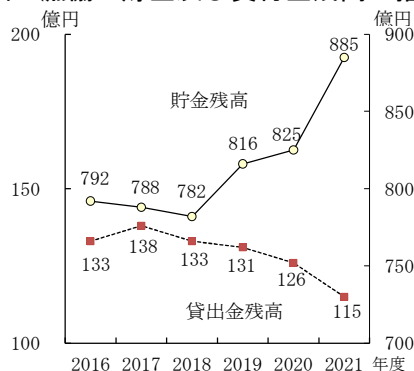
年度	区分	沿海漁業協同組合	内水面漁業協同組合	業種別漁業協同組合	水産加工業協同組合	漁業生産組合	計	連合会	
2021	組合数	22	19	6	-	6	53	2	
	組合員数	正	2,477	3,838	414	-	51	6,780	46
		准	6,053	598	138	-	-	6,789	-
		計	8,530	4,436	552	-	51	13,569	46



●漁業金融

漁協等の系統団体は、漁業生産活動に必要な資金融資を行うことにより、漁業にとって重要な役割を果たしています。2021年度末における漁協系統貯金残高は、対前年度比7.3%増の885億円、貸出金残高は同8.9%減の115億円でした（D図）。また、県では、漁業者等の資金需要に対応するため、制度資金を設け、利子補給などにより漁業経営の支援を行っています（E表）。

D図 漁協の貯金及び貸付金残高の推移



E表 制度資金の概要

区分	融資機関	利率		目的
		貸付利率	利子補給率	
漁業近代化資金	信漁連	年1.00% 【20t以上漁船】 年1.00%	年0.45 ～1.25% 【20t以上漁船】 年1.25%	経営の近代化等に必要な漁船、漁具、養殖施設等の取得促進
漁業振興資金	信漁連	年1.5～1.9%	—	短期の運転資金等
沿岸漁業改善資金	県（窓口は信漁連）	無利子		沿岸漁業従事者等が漁業経営の健全な発展、漁業生産力の増大等を図るため

(2023年3月20日現在)
(資料 県調べ)

3 漁業生産の基盤

漁船・漁港の動向

●漁船隻数はやや減少

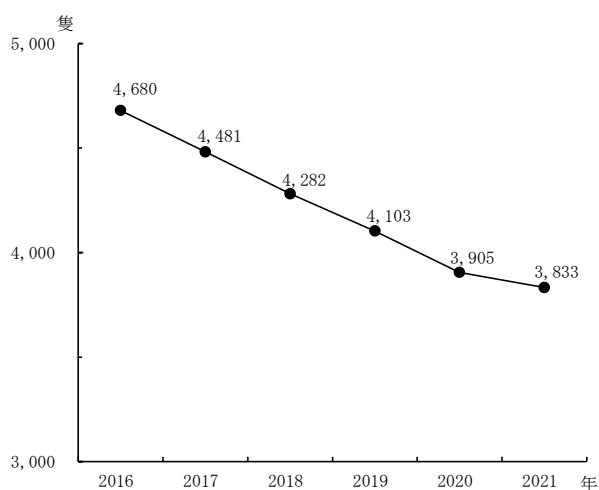
2021年の海水動力漁船の隻数（漁船統計表、2021年12月31日現在）は、前年に比べ72隻減少して3,833隻となっています（A図）。

●漁港への陸揚量

本県の指定漁港は、第1種漁港（利用範囲が地元の漁業を主とするもの）が17港、第2種（利用が第1種より広く第3種に属さないもの）が13港、第3種（利用が全国的なもの）が3港、第4種（避難港等）が1港であり、このうち11港が県管理、23港が市町管理漁港です。漁港における2021年の陸揚量は、52,362 tと前年から3.4%減少しました（B図）。

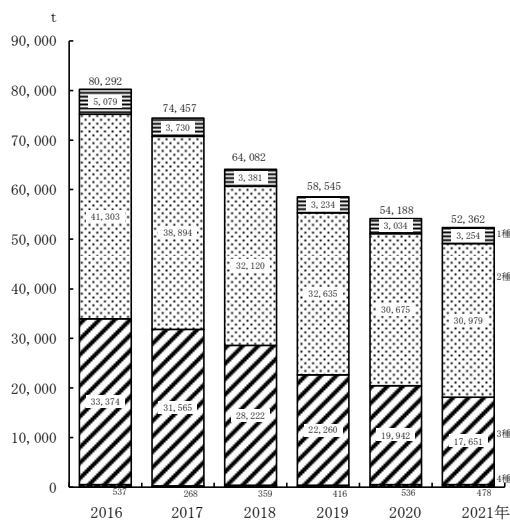
県では、漁港整備を行っており、2022年度から2026年度は第5次漁港漁場長期計画に基づき整備を実施しています（C表）。

A図 海水動力漁船隻数の推移



（資料 漁船統計表）

B図 漁港における陸揚量の推移



（資料 県水産課調べ）

C表 第5次漁港漁場整備長期計画等に基づく整備計画（2022～2026年度）

	事業名	港数	漁港地区名
国庫補助事業	水産流通基盤整備事業	1	師崎
	水産物供給基盤機能保全事業 （保全工事）	20	鬼崎、小鈴谷、上野間、豊浜、師崎、篠島、日間賀、大井、大浜、一色、宮崎、寺津、衣崎、佐久島、西幡豆、蜷川、知柄、形原、福江、赤羽根
	漁港施設機能強化事業	11	鬼崎、豊浜、師崎、篠島、栄生、佐久島、西幡豆、知柄、形原、福江、赤羽根
	漁村整備事業	1	日間賀
県単独補助事業	漁港有効活用等整備事業	7	大野、鬼崎、荻屋、味沢、佐久島、姫島、宇津江

漁場・漁村の動向

●漁場の整備

県では、内湾から外海まで県域全体の水産資源増大と漁場環境改善を図るため「あさりとさかな漁場総合整備事業」を行っており、2022年度はあさり漁場となる干潟・浅場を三河湾（西尾市及び田原市地先）で10.1ha造成するとともに、渥美外海のさかな漁場となる魚礁を2,357.4空m³整備しました。また、2022年度は冬季波浪によるあさりの減耗対策として「貝類増殖場造成事業」を実施し、南知多町地先に割ぐり石を利用した増殖場を1.0ha、西尾市地先に砂利を利用した増殖場を1.7ha造成しました（A表）。

A表 漁場整備実績

事業	内容	場所	事業量
あさりとさかな漁場総合整備事業	干潟・浅場造成	西尾市地先	6.1 ha
	干潟・浅場造成	田原市地先	4.0 ha
	魚礁設置	渥美外海	2,357.4 空m ³
貝類増殖場造成事業	貝類増殖場造成（割ぐり石）	南知多町地先	1.0 ha
	貝類増殖場造成（砂利）	西尾市地先	1.7 ha

●共同利用施設などの整備

県では、水産業の強い産地づくりを進めるため、地域の拠点となる施設整備へ重点的な支援を行っています。2022年度は南知多町及び碧南市が国庫補助を受けて実施した水産業強化支援事業で3件の製氷・貯氷施設の整備に対し助成を行いました（B表）。また、漁業・漁村を取り巻く厳しい環境や食の安心安全等に関わる課題に対応する施設の重点的な整備として、県単独事業の漁業生産力強化総合対策事業で南知多町等を始め7市町が実施した施設等の整備に対し支援を行いました（C表）。

B表 水産業強化支援事業実績

事業主体	事業実施主体	事業内容	実施年度
南知多町	日間賀島漁協	製氷(20 t/日)・貯氷施設(45t)の建設工事	2020～2022
南知多町	篠島漁協	製氷(40 t/日)・貯氷施設(200t)の建設工事	2021～2023
碧南市	大濱漁協	製氷(40 t/日)・貯氷施設(225t)の建設工事	2020～2022

C表 漁業生産力強化総合対策事業実績

事業種目	実施件数	実施内容
防災対策推進事業	2	水産物荷さばき施設、燃料等補給施設
地先漁場生産力向上事業	1	漁場の耕耘・整地
衛生管理強化事業	6	水産物荷さばき施設、水産物鮮度保持施設
就労環境改善事業	7	漁船保全修理施設、運搬施設、水産物荷さばき施設
合計	16	

漁場環境の動向

●2022年度の赤潮発生は23件

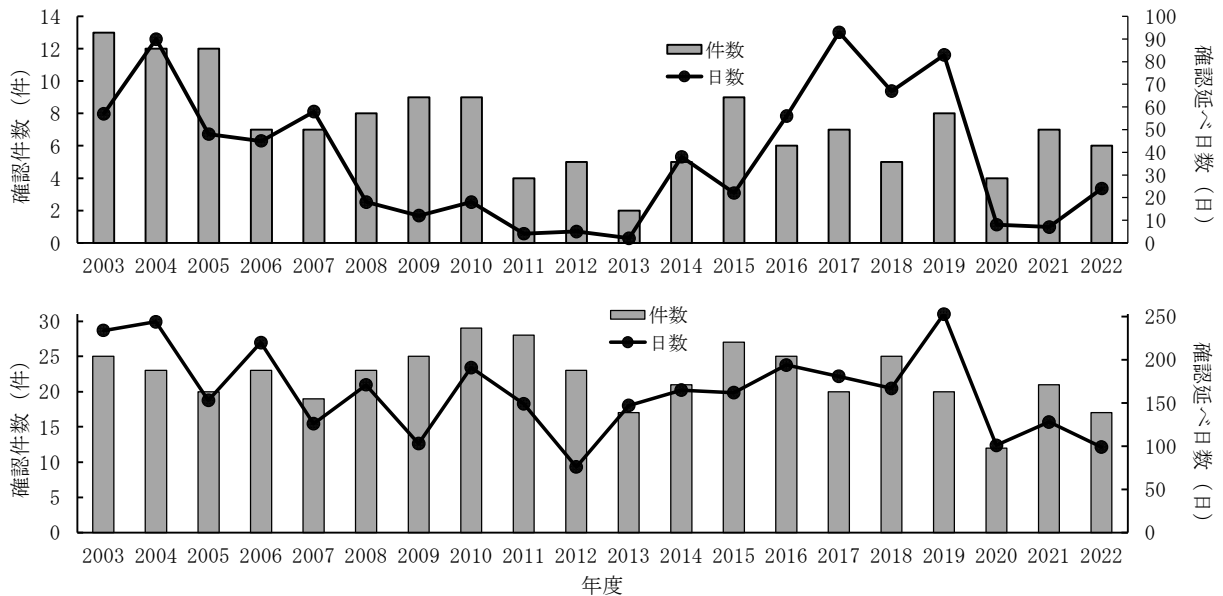
赤潮は、植物プランクトンが異常繁殖し、海水が赤色等に変色する現象で、のり養殖の色落ちや、底層の貧酸素化の要因となっています。

2022年度の赤潮確認件数は伊勢湾で6件、三河湾で17件の合計23件でした。確認延日数は伊勢湾で24日、三河湾で99日の合計123日でした。赤潮確認件数、確認延日数は年度により変動しているものの、伊勢湾、三河湾ともに経年的に明確な減少傾向は認められません（A図）。

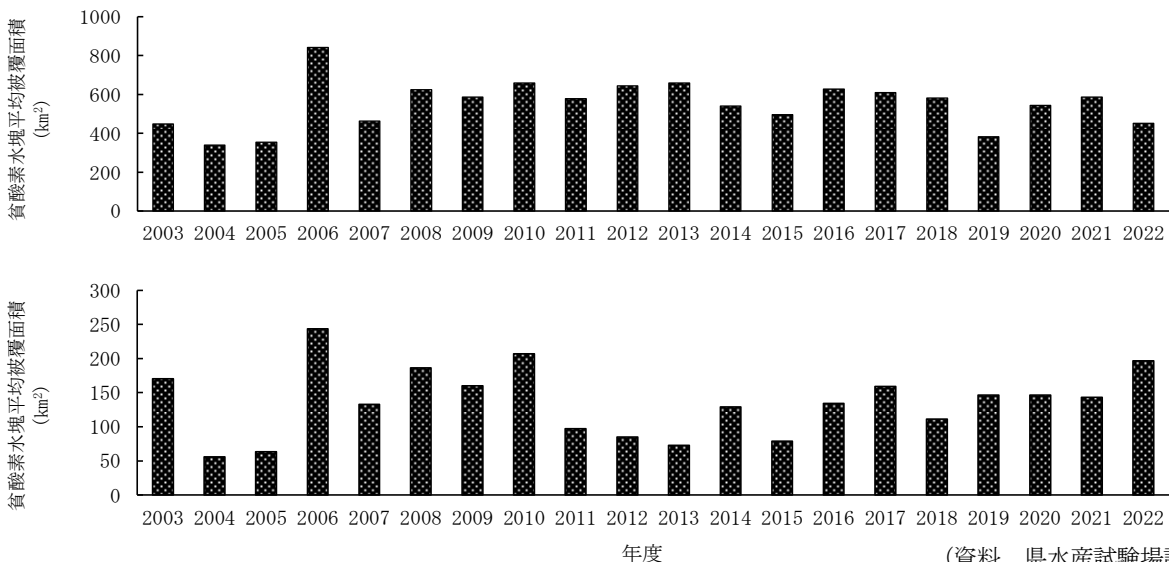
●2022年度の貧酸素水塊平均被覆面積

表層で発生した赤潮に由来する植物プランクトンの死骸等が沈降し、腐敗・分解することにより、酸素が消費され、底層では酸素が減少した水塊（＝貧酸素水塊：溶存酸素飽和度が30%以下の水塊と定義）が形成されます。貧酸素水塊に覆われた海底の面積（＝貧酸素水塊被覆面積）の2022年7～9月の平均は伊勢湾が451.6 km²、三河湾が196.8 km²でした（B図）。貧酸素水塊平均被覆面積は年度により変動しているものの、伊勢湾、三河湾の面積の半分近くを占めることも珍しくなく、経年的に明確な減少傾向は認められません。

A図 赤潮確認件数及び確認延日数の推移 上：伊勢湾、下：三河湾



B図 貧酸素水塊平均被覆面積（7-9月）の推移 上：伊勢湾、下：三河湾

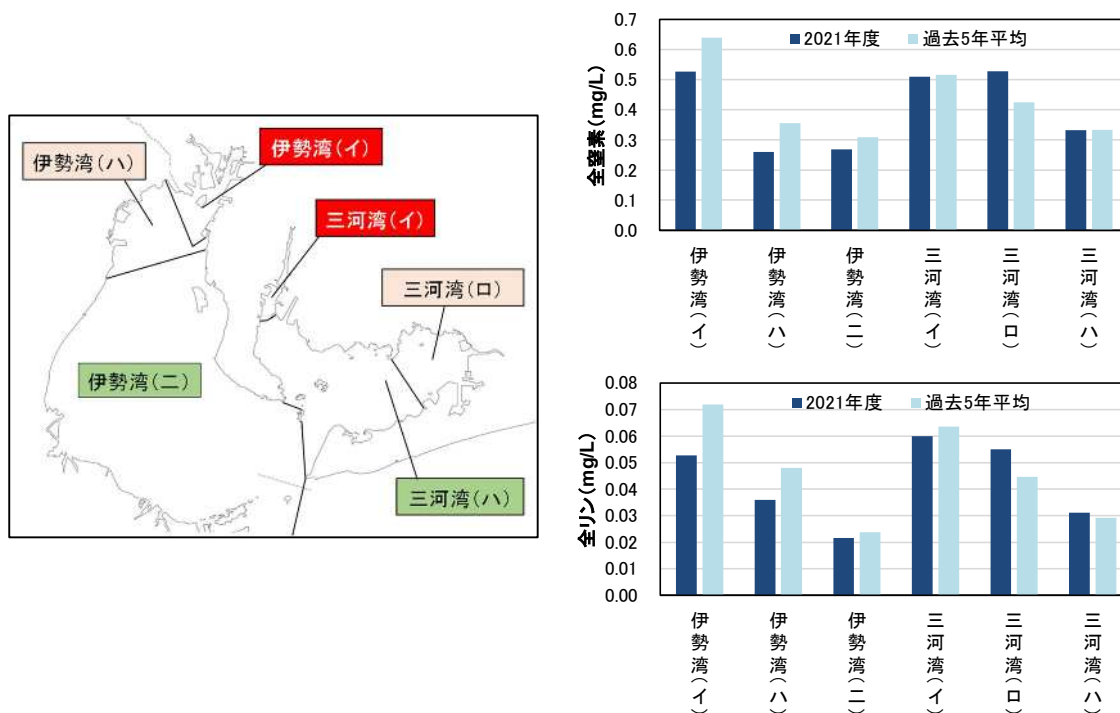


(資料 県水産試験場調べ)

●2021年度の全窒素・全リンについて

2021年度の伊勢湾は全窒素、全リンとも全ての海域区分で過去5年平均を下回りました（C図、D表）。特にイ、ハの海域は過去5年平均比約70～80%と大きく下回っていました。一方の三河湾は、イ、ハの海域は全窒素、全リンとも過去5年平均と同程度だったのに対し、ロの海域は過去5年平均より大きく増加（120～130%）していました。このことから、2021年度の全窒素、全リンは、伊勢湾では近年ではやや低め、三河湾では近年ではやや高めだったと考えられます。

C図：海域毎の全窒素・全リン濃度平均値の2021年度と過去5年平均の比較



D表 海域における全窒素・全燐の年平均値の経年変化

(単位: mg/l)

水域名	類型	地点名	全窒素					全燐						
			2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
伊勢湾(イ)	IV	N-2	0.88	0.85	0.83	1.20	0.91	0.80	0.097	0.095	0.090	0.130	0.089	0.072
		N-3	0.60	0.60	0.54	0.53	0.61	0.44	0.073	0.069	0.060	0.061	0.065	0.046
		N-4	0.37	0.42	0.41	0.43	0.41	0.34	0.048	0.053	0.050	0.046	0.052	0.040
伊勢湾(ハ)	III	N-6	0.34	0.37	0.35	0.37	0.35	0.26	0.050	0.048	0.047	0.043	0.052	0.036
伊勢湾(ニ)	II	N-5	0.32	0.34	0.36	0.40	0.35	0.32	0.033	0.035	0.032	0.033	0.030	0.027
		N-7	0.28	0.34	0.37	0.39	0.33	0.29	0.027	0.032	0.038	0.025	0.023	0.024
		N-8	0.26	0.26	0.27	0.38	0.25	0.25	0.021	0.025	0.021	0.020	0.018	0.020
		N-9	0.26	0.30	0.29	0.32	0.27	0.25	0.016	0.023	0.018	0.016	0.017	0.019
		N-13	0.25	0.28	0.26	0.27	0.31	0.23	0.019	0.021	0.019	0.014	0.019	0.018
三河湾(イ)	IV	K-3	0.51	0.54	0.49	0.57	0.47	0.51	0.064	0.075	0.062	0.064	0.053	0.060
三河湾(ロ)	III	A-1	0.38	0.38	0.35	0.42	0.38	0.73	0.048	0.039	0.039	0.042	0.037	0.074
		A-4	0.46	0.47	0.53	0.68	0.51	0.56	0.052	0.049	0.066	0.075	0.057	0.066
		A-5	0.35	0.39	0.36	0.43	0.34	0.41	0.034	0.037	0.034	0.037	0.033	0.040
		A-6	0.40	0.41	0.41	0.46	0.38	0.41	0.048	0.040	0.042	0.044	0.040	0.040
三河湾(ハ)	II	K-4	0.41	0.38	0.35	0.40	0.33	0.38	0.042	0.041	0.033	0.036	0.032	0.034
		K-5	0.35	0.32	0.29	0.32	0.28	0.32	0.035	0.032	0.027	0.030	0.026	0.031
		K-6	0.27	0.31	0.32	0.35	0.32	0.31	0.026	0.026	0.028	0.027	0.023	0.029
		K-8	0.32	0.34	0.32	0.35	0.30	0.33	0.027	0.031	0.031	0.027	0.026	0.030
		A-7	0.33	0.38	0.34	0.36	0.37	0.35	0.030	0.032	0.032	0.029	0.029	0.036
		A-8	0.29	0.31	0.27	0.39	0.27	0.29	0.026	0.028	0.024	0.024	0.023	0.029
		A-9	0.31	0.35	0.30	0.33	0.41	0.36	0.028	0.032	0.027	0.028	0.034	0.033
		A-14	0.29	0.38	0.30	0.42	0.30	0.32	0.026	0.033	0.027	0.027	0.024	0.027

資料：公共用水域の水質調査（県環境局）

栽培漁業の動向

●栽培漁業の推進

県では、水産資源の維持増大を図るため、1978年10月に開設した愛知県栽培漁業センターにおいて放流用の種苗を生産・供給し、漁業者による栽培漁業の取組を推進しています（A表）。

本県の栽培漁業は、沿岸漁業整備開発法に基づき栽培漁業基本計画を策定し、資源状況に即した見直しを随時行い、栽培漁業の一層の推進を図っています。

1979年度のくるまえば、あわび、あゆに始まり、1985年度にくろだいとがざみ、1993年度になまこ、更に2005年度にとらふぐとよしえびを生産魚種に加えてきました。2020年度からは資源造成が図られたくろだいの生産を休止して、とらふぐ、がざみを増産、2022年度からはくるまえば、がざみ、よしえびを増産しました。

A表 栽培漁業センター産種苗の供給実績

魚種	供給先	年度				
		2018	2019	2020	2021	2022
くるまえば（千尾） （全長1.5～2.0cm）	常滑市	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
	南知多町	—	—	—	—	1,000
	西尾市（旧一色町）	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500
	西尾市（旧幡豆町）	—	—	—	—	1,000
	西尾市（三河湾）	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300
	田原市（旧渥美町）	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200
計		20,000	20,000	20,000	20,000	22,000
がざみ（千尾） （甲幅0.5～0.8cm）	常滑市	170	170	170	170	170
	南知多町	330	330	330	330	360
	西尾市（旧幡豆町）	500	500	500	500	700
	蒲郡市	100	100	100	100	100
	田原市（旧渥美町）	500	500	500	500	500
計		1,600	1,600	1,600	1,600	1,830
よしえび（千尾） （全長1.1～1.7cm）	常滑市	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
	南知多町	2,000	2,000	2,000	2,000	2,500
	碧南市	—	—	—	—	1,600
	西尾市（旧一色町）	1,000	1,000	1,000	1,000	—
計		4,500	4,500	4,500	4,500	5,600
とらふぐ（千尾） （全長3.5～4.5cm）	南知多町	130	130	130	130	130
	西尾市（旧一色町）	40	40	40	50	50
計		170	170	170	180	180
あわび（千個） （殻長1.0～2.0cm）	師崎漁協	60	60	60	30	30
	篠島 "	65	65	60	30	30
	日間賀島 "	60	60	60	30	30
	豊浜 "	60	60	60	30	30
	渥美、片名、愛知外海漁協他	35.5	38.7	35.5	20.5	20.5
計		280.5	283.7	275.5	140.5	140.5
なまこ（千尾） （全長0.5～1.0cm）	南知多町	380	380	425	443	380
	西尾市（旧一色町）	35	35	35	44	35
	西尾市（旧吉良町）	25	25	25	25	25
	西尾市（旧幡豆町）	50	50	50	50	50
	蒲郡市	10	10	40	16	10
	田原市（旧渥美町）	200	200	215	222	200
計		700	700	790	800	700
あゆ（千尾） （全長3.0～3.9cm） （全長4.0～5.0cm） （全長4.0～6.0cm）		500	500	500	—	—
	愛知県鮎養殖漁業生産組合等	1,500	1,500	1,500	1,300	—
		—	—	—	—	1,200
計		2,000	2,000	2,000	1,300	1,200

資源管理の動向

●資源管理型漁業の推進

水産資源を増やす取組に加えて、獲りすぎないように漁獲をコントロールする資源管理型漁業の推進も重要です。漁業者は、休漁期間や定期休漁日の設定、網目の制限など様々な自主的な取組を定めた「資源管理計画」を作成し、資源管理に取り組んでいます（A表）。

A表 資源管理計画の一覧表

No.	資源管理計画名	計画参加者数	No.	資源管理計画名	計画参加者数
1	大湊漁協中型まき網漁業	3	20	西三河漁協吉良支所さし網漁業	2
2	愛知県ばつち網漁業者組合イカナゴ	21	21	蒲郡漁協西浦支所小型機船底びき網(渥美外海板びき網及び改良備前網)漁業	9
3	愛知県ばつち網漁業者組合イワシ類	21	22	幡豆漁協小型機船底びき網(改良備前網)漁業	3
4	愛知県しらす・いかなご船びき網連合会イカナゴ	84	23	西三河漁協吉良支所採貝(長柄まんが)漁業	4
5	愛知県しらす・いかなご船びき網連合会イワシ類	84	24	西三河地区採貝(腰まんが)漁業	114
6	蒲郡漁協西浦支所小型機船底びき網(えびけた網)漁業	4	25	西三河地区小型機船底びき網(貝けた網(水流噴射式けた網))漁業	84
7	蒲郡漁協形原支所小型機船底びき網(えびけた網)漁業	4	26	鬼崎漁協小型機船底びき網(貝けた網(水流噴射式けた網))漁業	22
8	蒲郡漁協形原支所小型機船底びき網(渥美外海板びき網及び改良備前網)漁業	4	27	常滑漁協小型機船底びき網(貝けた網(水流噴射式けた網))漁業	2
9	豊浜漁協小型機船底びき網(渥美外海板びき網)漁業	6	28	小鈴谷漁協小型機船底びき網(貝けた網(水流噴射式けた網))漁業	25
10	伊勢湾海域における小型機船底びき網(まめ板網)漁業	100	29	西三河漁協一色支所小型機船底びき網(貝けた網及びえびけた網)漁業	5
11	愛知外海漁協しらす機船底びき網漁業	6	30	片名漁協かに籠漁業	5
12	東幡豆漁協小型機船底びき網(貝けた網及びえびけた網)漁業	5	31	篠島漁協小型機船底びき網(手線第二種餌りびき網)漁業	6
13	幡豆漁協小型機船底びき網(渥美外海板びき網)漁業	3	32	大湊漁協小型機船底びき網(貝けた網、えびけた網及びまめ板網(三河湾))漁業	6
14	幡豆漁協小型機船底びき網(貝けた網及びえびけた網)漁業	2	33	愛知県ふぐ延縄組合連合会トラフグ	51
15	日間賀島漁協小型機船底びき網(渥美外海板びき網)漁業	8	34	篠島漁協あなご籠漁業	12
16	三谷漁協小型機船底びき網(貝けた網及びえびけた網)漁業	1	35	日間賀島漁協潜水器漁業	50
17	西三河漁協吉良支所小型機船底びき網(渥美外海板びき網、貝けた網及びえびけた網)漁業	5	36	日間賀島漁協あなご籠漁業	17
18	片名漁協あなご籠漁業	4	37	大井漁協あなご籠漁業	1
19	西三河漁協一色支所小型機船底びき網(渥美外海板びき網及び改良備前網)漁業	21	38	篠島漁協かに籠漁業	5
			計		809

(2023年4月1日現在)

●漁獲可能量制度による数量管理の取組

漁獲可能量とは、法に基づき特定の魚種ごとに国が定める、年間に漁獲できる総量であり、通称TAC (Total Allowable Catch) と呼ばれています。漁獲可能量の管理対象には2023年4月1日現在で8魚種が指定され、このうち本県ではまいわしなど5魚種が管理対象となっています（B表）。

B表 本県に定められた漁獲可能量

魚種名	くろまぐろ		まあじ	まいわし	まさば及びごまさば	するめいか
	30kg 未満	30kg 以上				
管理期間	2023. 4～2024. 3		2023. 1～12	2023. 1～12	2022. 7～2023. 6	2023. 4～2024. 3
本県への配分量	0. 1t	1. 0t	現行水準	現行水準	現行水準	現行水準

4 漁業生産

漁業総生産の動向

●漁業・養殖業の総生産量は2.3%減少

2021年の本県海面及び内水面の漁業・養殖業の総生産量は67,875 tで、前年(69,503t)に比べ2.3%減少しました(A図)。

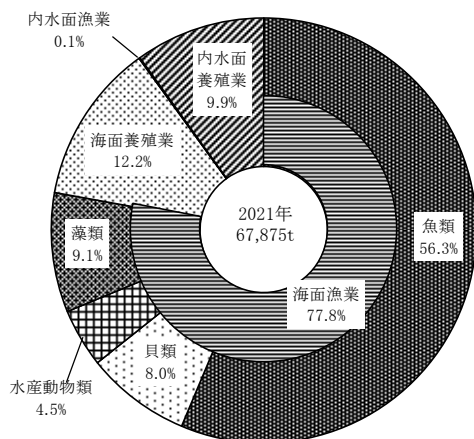
このうち、海面漁業は52,835 tで前年に比べ1.2%減少しており、海面養殖業は8,264 tで19.7%の減少となりました。また、内水面漁業は64 tで前年に比べ23.8%減少し、内水面養殖業は6,712 tで18.4%増加しています(B図)。

●漁業・養殖業の総産出額は5.8%増加

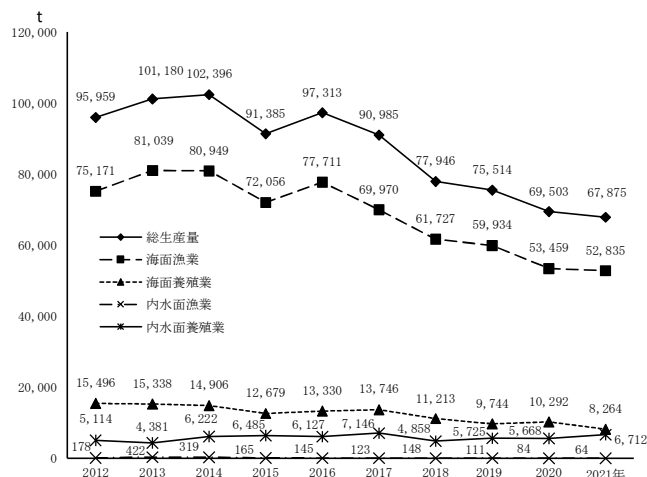
2021年の漁業・養殖業の総産出額は375.2億円で、前年(354.5億円)に比べ5.8%増加しました(C図)。

このうち、海面漁業は134.7億円で前年に比べ2.7%の増加、海面養殖業は20.2億円で29.3%の減少、内水面漁業は2.0億円で9.2%の減少、内水面養殖業は218.3億円で13.4%の増加となっています(D図)。

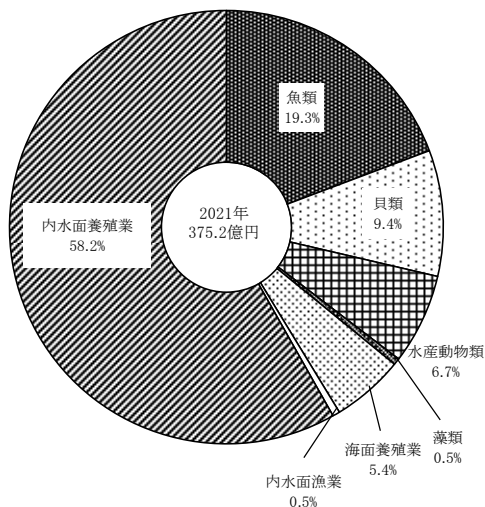
A図 漁業・養殖業の総生産量の内訳



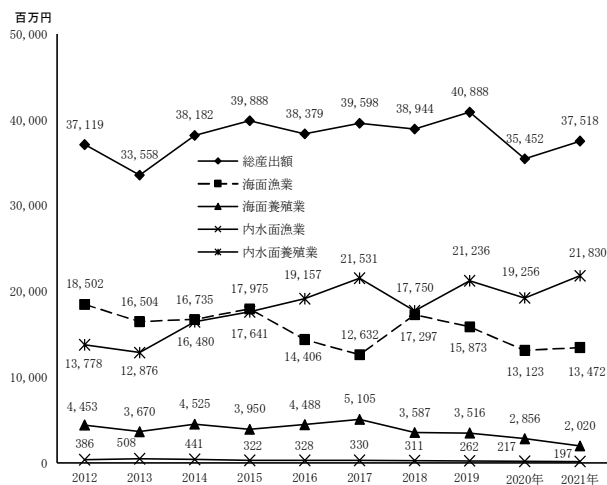
B図 漁業・養殖業の総生産量の推移



C図 漁業・養殖業の総産出額の内訳



D図 漁業・養殖業の総産出額の推移



内水面漁業および内水面養殖業の産出額は、県水産課が魚種別の生産量に全国単価を乗じて求めた推計値。内水面養殖業は産出額(D図)のみきんぎょを含む。きんぎょは県水産課調べ(資料 海面漁業生産統計調査、内水面漁業生産統計調査、県水産課調べ(A~D図))

海面漁業生産の動向

●海面漁業漁獲量は1.2%減少

2021年の本県海面漁業の漁獲量は52,835 tで、前年（53,459 t）に比べ1.2%減少しました。

魚種別では、まいわしが16,551 tで最も多く、県全体で31.3%を占め、次いで、しらすが9,619 tで同18.2%、かたくちいわしが7,030 tで同13.3%、あさり類が2,364 tで同4.5%を占めました。これら上位4魚種で全体の約3分の2となっています（A図）。

漁業種類別では、船びき網が34,707 tで同65.7%を占め、次いで、小型底びき網が4,931 tで同9.3%となっています（B図）。

●海面漁業産出額は2.7%増加

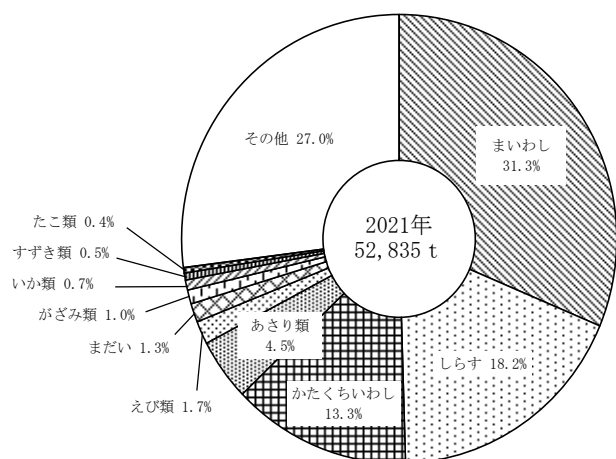
2021年の海面漁業の産出額は134.7億円で、前年（131.2億円）に比べ2.7%増加しました（C図）。

魚種別に見ると、しらすが36.8億円で県全体の27.3%を占め、あさり類が19.6億円で同14.6%、次いで、まいわしが7.6億円で同5.6%となっています。

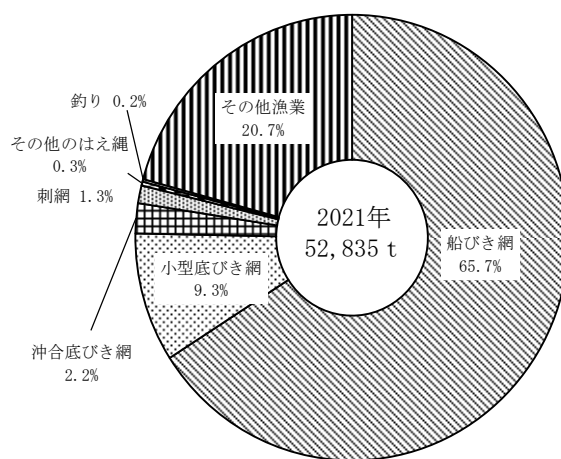
●漁業総生産は近年減少傾向

海面漁業は漁業生産量全体の半分以上を占めていますが、近年は減少傾向にあります（D図）。海面養殖業はノリ養殖の経営体減少により一貫して減少傾向にあります。内水面養殖業は、横ばいで推移しています。

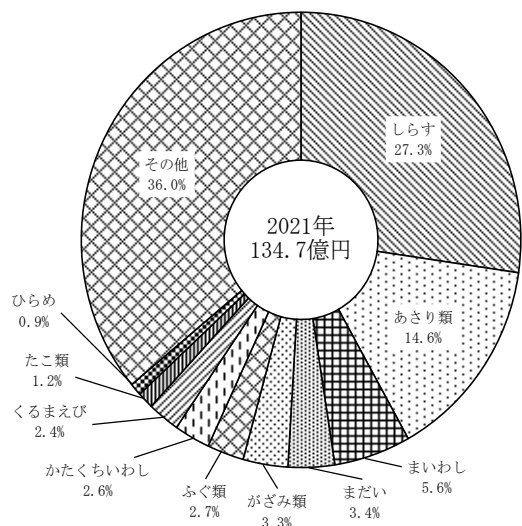
A図 海面漁業魚種別漁獲量の構成



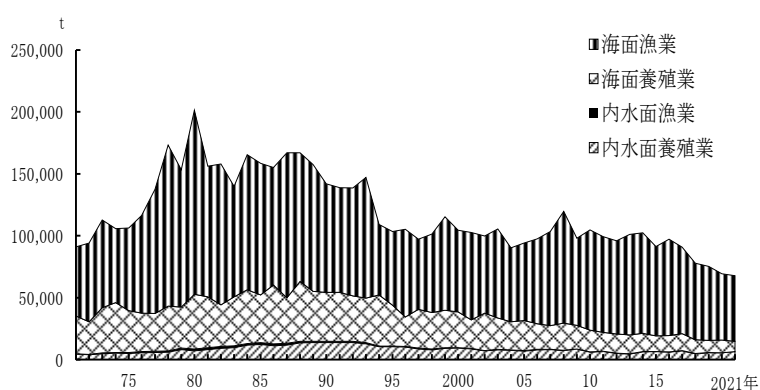
B図 海面漁業種類別漁獲量の構成



C図 海面漁業魚種別産出額の構成



D図 海面・内水面漁業・養殖生産量の推移



(資料 海面漁業生産統計調査 (A~D図))

海面養殖生産の動向

●板のり生産枚数は21.1%減少（暦年）

2021年の本県海面養殖業の収穫量は8,624 tで、前年に比べ19.7%減少しました。本県の海面養殖業のほとんどはのり養殖業で、2021年（1～12月）における板のりの生産枚数は2億242万枚となり、前年に比べ21.1%減少しました（A表）。

地域別では、知多地区が1億5985万枚で前年に比べ27.6%の減少、西三河地区が2,855万枚で8.3%の増加、東三河地区では1402万枚で48.0%の増加となっています（B図）。

●養殖年では15.5%減少

板のり生産枚数を養殖年で比較すると、2021年度（2021年11月～22年5月）は2億1,790万枚となり、前年度に比べ15.5%の減少となりました。地区別では、知多地区が17.1%の減少、西三河地区が6.9%の減少、東三河地区が12.5%の減少となっています（C図）。

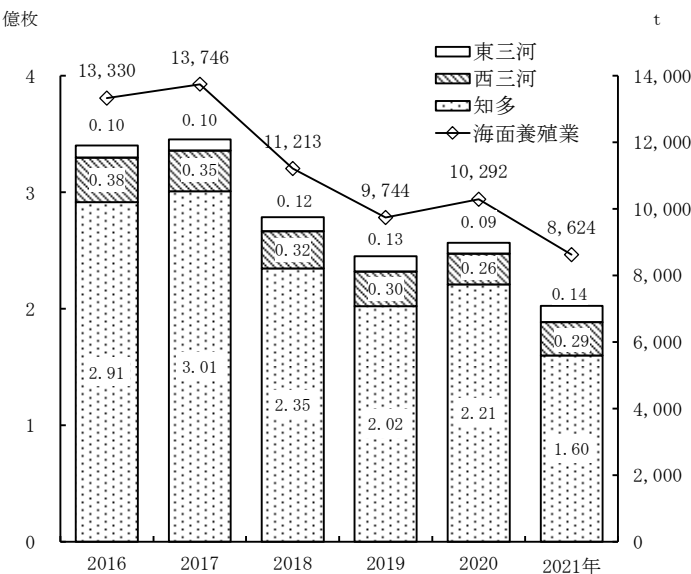
A表 板のり生産状況（暦年）

区分		年					
		2016	2017	2018	2019	2020	2021
生産枚数 (千枚)	くろのり	327,668	334,044	264,003	230,846	243,230	186,042
	まぜのり	3,455	x	x	x	x	5,379
	あおのり	8,975	x	x	x	x	11,001
	板のり計	340,099	345,317	278,721	244,550	256,676	202,422
産出額 (万円)	合計	410,700	481,700	329,800	329,300	264,400	x
板のり平均価格 (円/100枚)		1,208	1,395	1,183	1,347	1,030	x

(注) 板のり平均単価は、ばらのり・生のりを含む。

(資料) 海面漁業生産統計調査

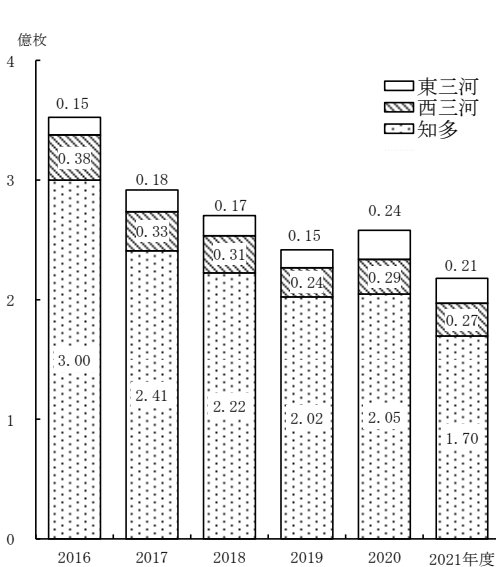
B図 海面養殖業収穫量及び板のり生産枚数の推移（暦年）



(資料) 海面漁業生産統計調査

注) 2020、2021年は海面漁業生産統計に係る調査票情報を集計した数値

C図 板のり生産枚数の推移（養殖年度）



(資料) 県水産課調べ

内水面漁業・養殖業の動向

●内水面漁業漁獲量は64 t

2021年の本県内水面漁業の漁獲量は64 tで、前年に比べ23.8%の減少となりました。あゆの漁獲量は45 tで、前年から8.2%の減少となっています（A図）。

●うなぎ養殖の収穫量は5,288 t

本県のうなぎ養殖は、西尾市一色町を中心とする西三河地区で盛んに行われており、鹿児島県に次いで全国第2位の収穫量となっています。2021年の収穫量は5,288tで前年に比べ22.5%の増加となりました。

2021年は、しらすうなぎ採捕量が前年より減少しましたが、収穫量は前年より増加しました。また、成鰻単価は前年より低下しました（B図）。

●あゆ養殖の収穫量は1,247 t

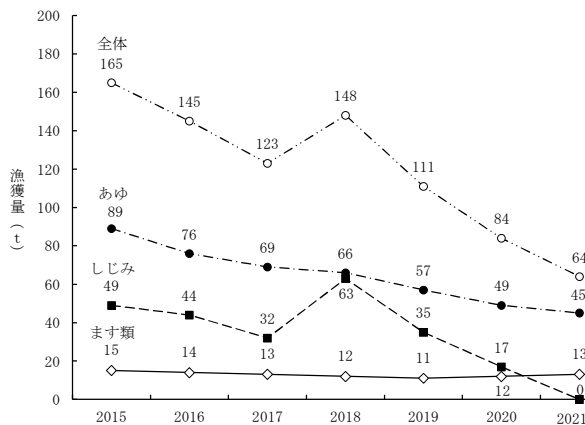
本県のあゆ養殖は、豊川市を中心とする東三河地区で行われており、2013年から全国第1位の収穫量となっています。

2021年の収穫量は1,247tで前年に比べ4.9%増加し、産出額は20億円で前年に比べ9.1%増加しました（C図）。

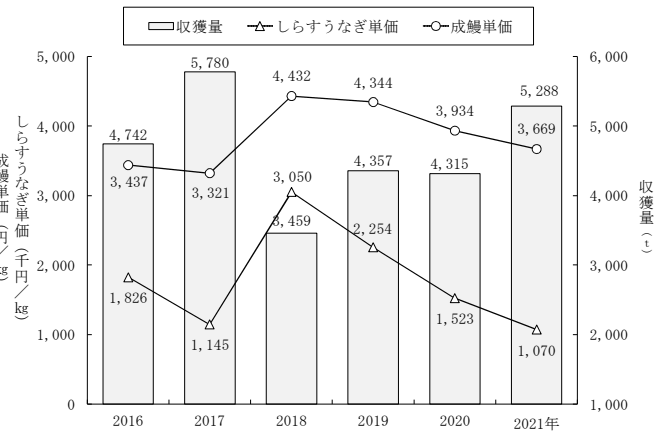
●きんぎょ養殖の生産量は4,810千尾

本県のきんぎょ養殖は、弥富市を中心とする海部地区で行われており、奈良県に次いで全国第2位の生産（販売）量となっています。2021年の生産量は4,810千尾で前年に比べ12.5%減少し、産出額は約2.8億円で前年に比べ13.7%減少しました（D図）。

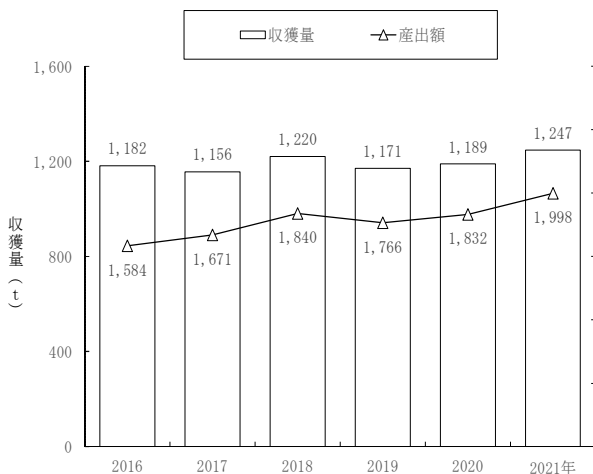
A図 内水面漁業魚種別漁獲量の推移



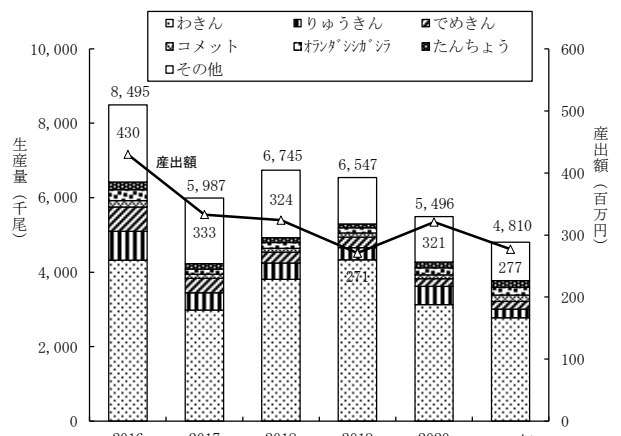
B図 成鰻収穫量、しらすうなぎ単価及び成鰻単価の推移



C図 あゆ収穫量及び産出額の推移



D図 きんぎょ種類別生産量及び産出額の推移



(資料 内水面漁業生産統計調査、県水産課調べ)

5 流通加工

水産物流通の動向

●産地市場、消費地市場の流通量約16.5万 t

本県の水産物を扱う主な市場は、2022年4月現在で産地市場が13、消費地市場が8（2中央卸売市場含む）の計21市場があり、21市場において2021年に取引した水産物は、16.5万 t、1,343億円で、前年（16.8万 t、1,315億円）と比べて数量で0.3万 tの減少、取引額で28億円の増加となっています。

また、産地市場の取扱量は4.1万 tで、このうち県外へ移出された水産物は、0.3万 t（8.2%）でした。中央卸売市場を除く消費地市場の取扱量は1.4万 tで、このうち県外から移入された水産物は0.7万 t（50.3%）でした（A図）。

●産地価格の総平均は4.1%増加

2021年の産地における水産物の1kg当たりの総平均価格（水揚金額／水揚数量）は255円で、前年に比べ10円（4.1%）増加しました。種類別では、魚類が189円で前年に比べ24円（11.3%）減少しました。また、水産動物類は836円で44円（5.6%）、貝類は650円で61円（10.4%）増加しました（B図）。

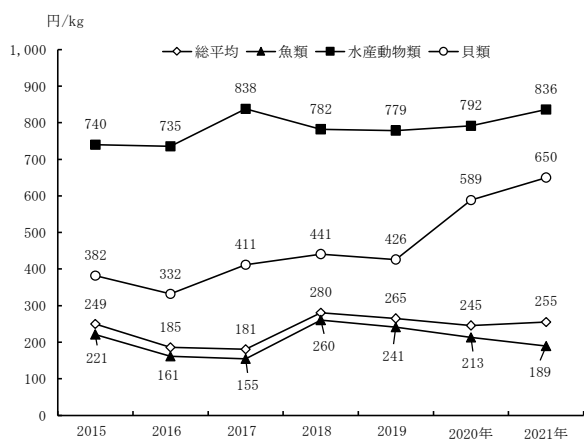
●消費地価格の総平均は2.7%増加

2021年の消費地市場（名古屋市中央卸売市場）における水産物の1kg当たりの総平均価格（取扱金額／取扱数量）は1,006円で前年に比べ26円（2.7%）増加しました。また、種類別では、生鮮水産物は986円で前年より26円（2.7%）、冷凍水産物は1,338円で91円（7.3%）、加工水産物は988円で13円（1.3%）増加しました（C図）。

A図 2021年の市場流通状況

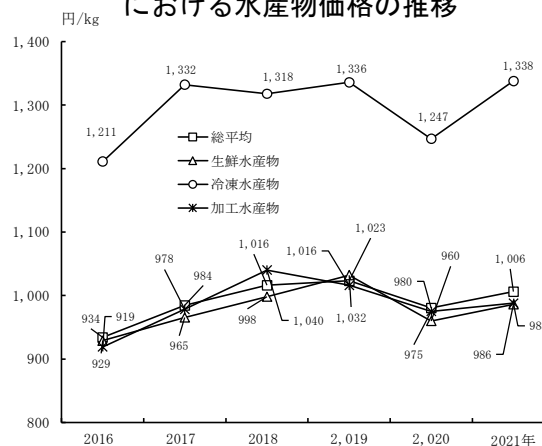
		0		20		40		60		80		100%	
産地市場 13市場 40,952t	出荷先	県内 37,606t (91.8%)										県外 3,346t (8.2%)	
消費地市場 6市場 13,649t	入荷先	県内 6,787t (49.7%)						県外 6,862t (50.3%)					
	品目	生鮮魚介類 2,595t (19.0%)				水産冷凍品 8,646t (63.3%)				水産加工品 2,408t 17.6%			

B図 産地における水産物価格の推移



(資料 海面漁業生産統計調査 (農林水産省統計部))

C図 消費地市場（名古屋市中央卸売市場）における水産物価格の推移



(資料 名古屋市中央卸売市場年報)

水産業の動き 2023

水産物輸出入の動向

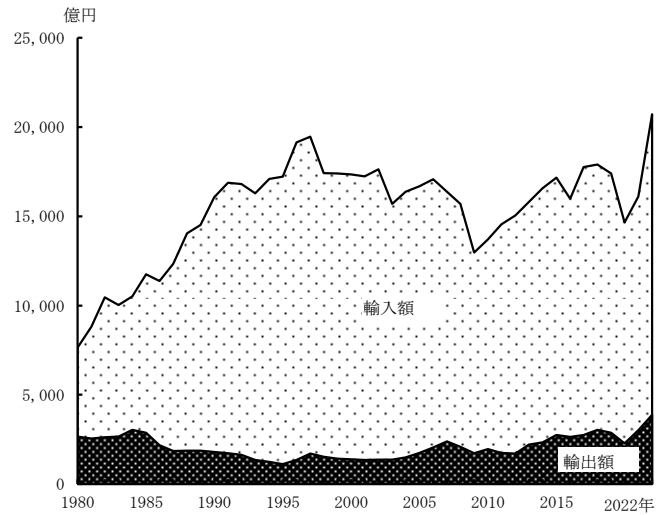
●水産物の輸出入

財務省の貿易統計によると、2022年の水産物の総輸入額は2兆711億円、総輸出額は3,873億円で、対前年比でどちらも28.5%の増加となっています。輸入額は2018年に減少に転じましたが、近年は増加傾向にあります。輸出額については、横ばい傾向でしたが、2021年に初めて3,000億円を突破しました（A図）。

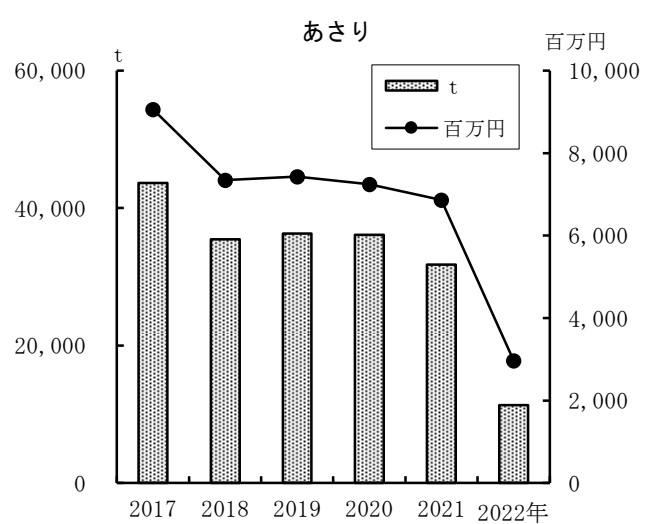
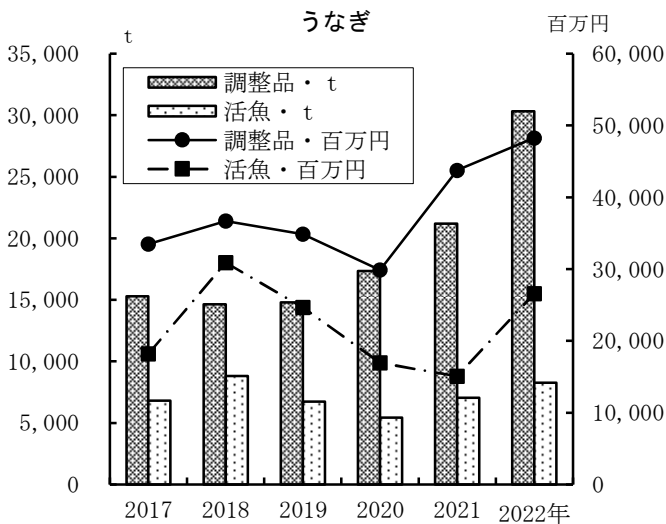
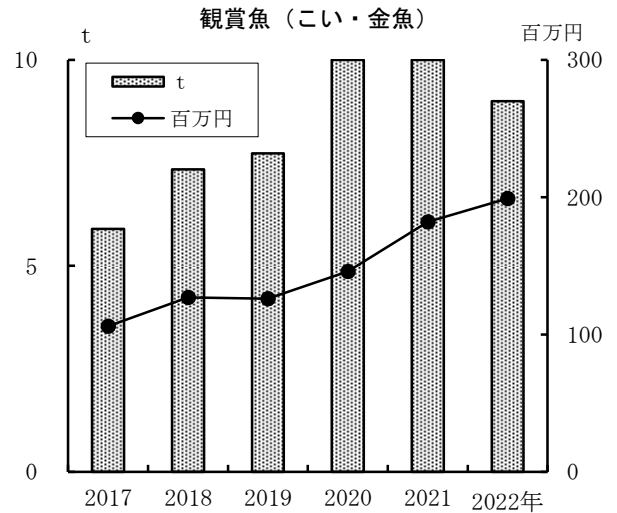
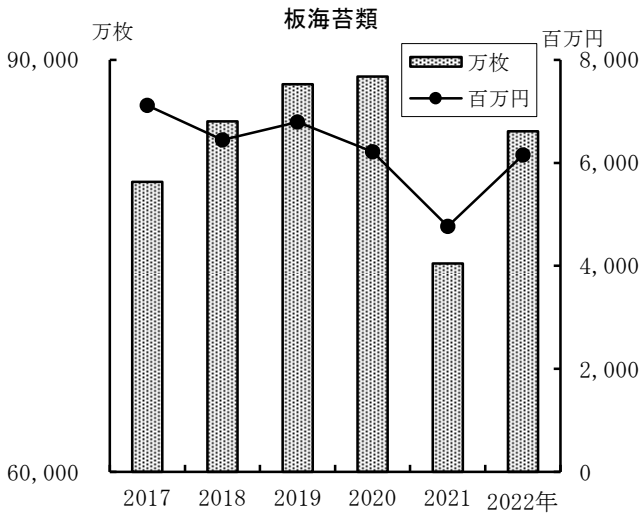
県水産業の主要品目について、近年の輸入量（全国）の推移を見ると、板海苔類は2021年に大きく減少しましたが、2022年は回復しました。観賞魚（こい、金魚）、うなぎは、増加傾向にあります。

一方あさりは、2022年に大きく減少しました（B図）。

A図 水産物の輸出入金額の推移



B図 品目別の輸入量・輸入金額の推移

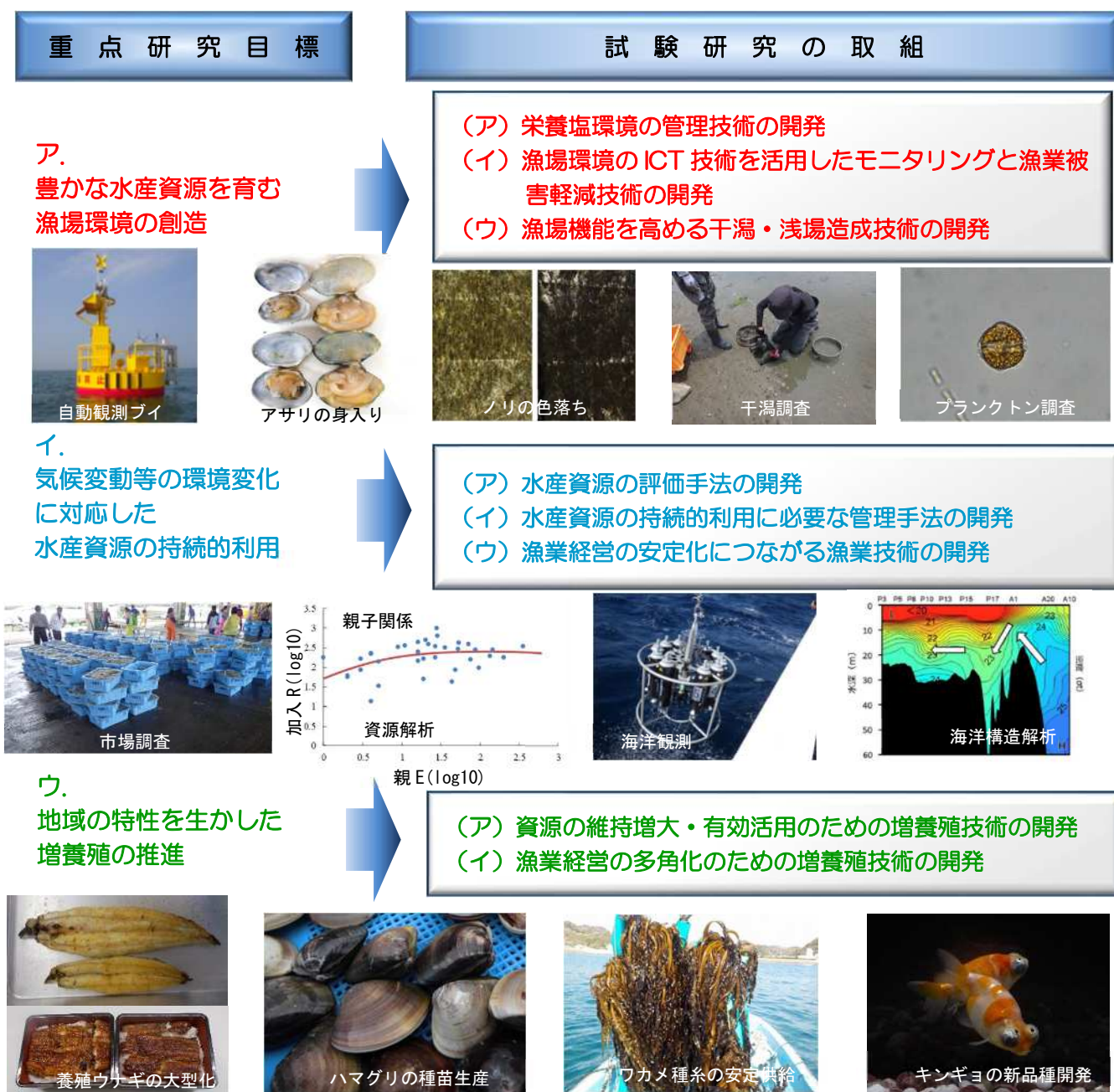


6 技術の開発・普及

●試験研究の動き

県では、本県の農林水産業の振興を技術的に支援するため、2020年12月に「愛知県農林水産業の試験研究基本計画2025」を策定しています。前基本計画2020の成果と今後の課題を踏まえ、SDGsの達成等の社会的な要請に早期に応えることを目指して、効率的に試験研究に取り組み、スピード感を持って生産現場へ解決策を提示するため、重点研究目標を整理しています。

この基本計画では、2025年度を目標年度として水産試験場が取り組む3つの重点研究目標や研究事項等を取りまとめており、これら目標を達成するための研究課題を設定し、試験研究を進めています。



●水産試験場の研究成果

(1) 生分解性素材を利用したあさり保護育成技術の開発

本県においてあさりの資源回復を妨げる問題点として、稚貝の秋冬季の減耗や魚類による食害があげられます。これらの問題に対する方策の一つとして、網（敷網、袋網）による保護が有効とされています。しかし、従来から使用されているポリエチレン製の袋網では、漁業現場で管理が必要であることから、作業負担の軽減や水深の深い漁場へ大規模に適用できる技術開発や環境面に配慮したプラスチックゴミ削減が望まれています。

本技術開発では、海水中で微生物等によって分解する生分解性（麻）の袋網を用いることで、管理の省力化を実現するとともに、袋網等を撤去することなく自然にあさがり漁場に添加され、漁具を用いた収穫が可能となりました。また、袋網には同じく天然素材であるパラフィン塗布することにより、資材の耐久性を調整できることも分かってきました。これらの開発は、生分解性素材の調達や加工技術に長けた地元民間企業（ティビーアール株式会社：豊川市）と共同で行っており、迅速な技術開発と県内普及を通じたあさり資源回復に加え、技術を持つ地元企業と水産業が連携した新たなビジネスモデルにつながることを期待されます。

A図 袋網へのあさり收容作業



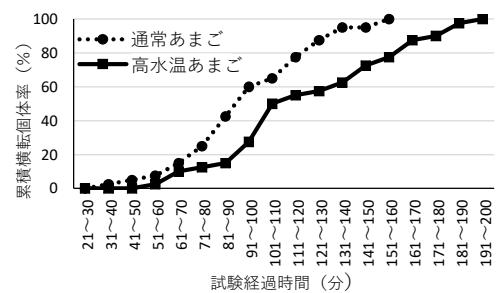
(2) ます類の高水温選抜技術の開発

ます類養殖場は屋外にあるため、温暖化の影響で以前より高水温にさらされる状況にあります。そこで、水産試験場では高水温に強い個体を選抜する技術の開発に取り組んでいます。

まず、あまごの発眼卵を高水温（28℃で30分）にさらし、生残した発眼卵を稚魚にまで飼育しました。こうして飼育した稚魚（以下、高水温あまご）と通常なあまご稚魚の高水温に対する強さを比較するため、水温28℃に設定した水槽内にそれぞれ收容し、横転するまでの時間を計測しました。

その結果、高水温あまごは通常なあまごよりも横転するまでの時間が長く、高水温に強い個体を選抜できることが分かりました（B図）。今後は養殖場で起きる高水温（21～24℃）で飼育試験を行い、選抜の効果を確認していきます。

B図 累積横転個体率の推移



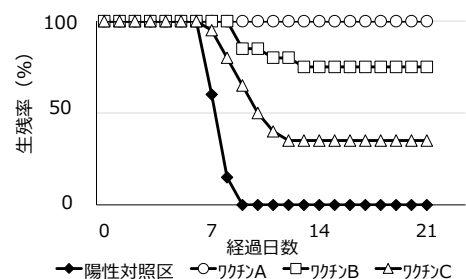
(3) きんぎょヘルペスワクチンの開発

致死性が高いきんぎょヘルペスウイルス性造血器壊死症（以下「きんぎょヘルペス」）は、1992年に初めて確認されて以来、きんぎょ養殖において大きな被害を及ぼしています。その対策としてワクチンが有効ですが、国内で利用されている水産用ワクチンは全て不活化ワクチンで、より効果の高い弱毒化させたウイルスそのものを用いる生ワクチン（以下「弱毒生ワクチン」）の実用化が求められています。

開発したきんぎょヘルペスワクチンを比較するため、最も有効性の高いワクチン株を3候補選定し、きんぎょに対して有効性と持続期間を検証しました。その結果、最も有効性の高かったワクチンA株では(C図)、きんぎょで高い有効率を達成しました。また、ワクチンの効果は6ヶ月間持続することがわかりました。

今後も実用化に向けて取り組み、きんぎょヘルペスの被害を未然に防ぐとともに他の魚類疾病における水産用弱毒生ワクチン開発の先駆的な取組となることを期待されます。

C図 各ワクチン株の攻撃試験結果



7 時の話題

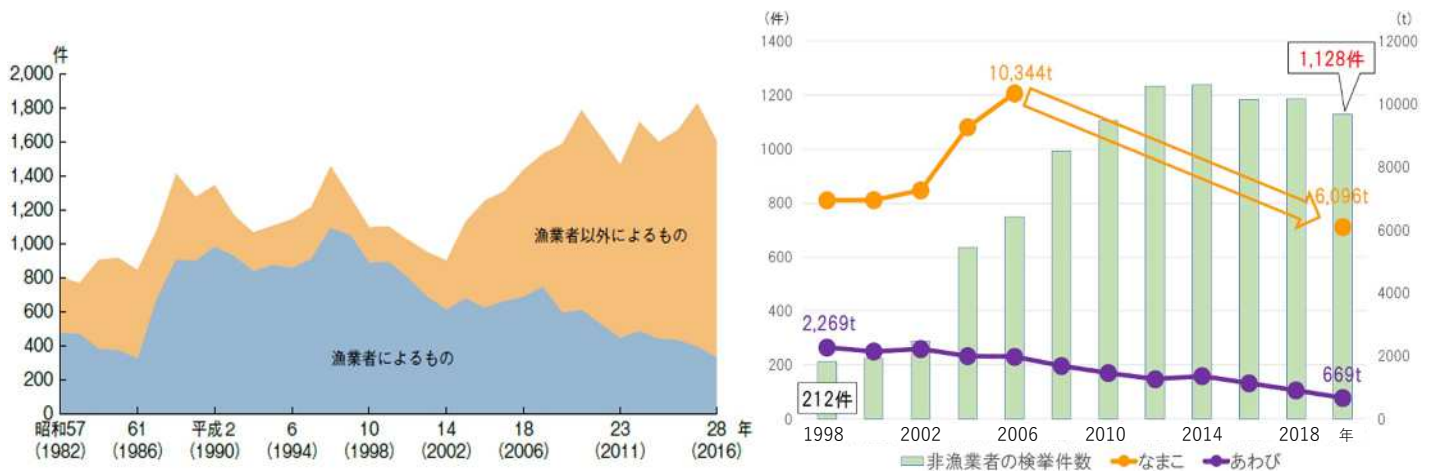
水産流通適正化制度について

1 背景

近年、漁業者による密漁は減少していますが、漁業者以外による密漁が増加しています。特に、密漁の対象となりやすいあわびやなまこは漁獲量が大幅に減少し、漁業者の経営を圧迫しています（A図）。

また、国際社会においてIUU（違法・無報告・無制限）漁業撲滅の実行が求められており、水産物輸入大国である我が国としても、海外の違法漁獲物の流入を阻止する措置を講ずる必要があります。

A図 密漁件数の推移（左）と漁業者以外の検挙件数とあわび・なまこ漁獲量の推移（右）（水産庁資料）



2 目的

水産物は、一度流通すると違法で漁獲されたものと適法に漁獲されたものとの判別が困難です。このため、漁獲段階での規制のみでなく、加工、流通段階でも違法な漁業に由来する水産物を排除する仕組みの構築が必要となりました。

そこで、国は国内で違法かつ密漁の恐れが大きい魚種（特定第一種水産動植物）として、あわび、なまこ、しらすうなぎ*が指定され、これらの国内流通の適正化を図る新たな制度が2022年12月から始まりました。

※2025年12月から適用

3 制度の概要

ここでは、水産流通適正化制度のうち、国内における違法漁獲物の流通防止のための制度について紹介します。特定第一種水産動植物を採捕する漁業者・漁協（以下、採捕事業者という。）、一次買取受業者、流通業者、加工業者等（以下、取扱事業者という。）及び小売販売事業者・外食事業者は、次の3つの義務が課されました（B図）。

①採捕事業者等の届出

採捕事業者及び取扱事業者は、事業が適法に行われるものである旨を都道府県知事*に対し、届出を行う必要があります。

※事務所並びに工場、店舗、事業所及び倉庫が都道府県の区域を超える場合は農林水産大臣

Ｂ図 水産流通適正化制度に係るスキーム



②情報の伝達

採捕事業者及び取扱事業者は、特定第一種水産動植物を譲渡するとき、以下5つの事項を譲り渡し先に伝達する必要があります（C図）。

- (1) 名称
- (2) 重量又は数量
- (3) 譲渡した年月日
- (4) 採捕事業者又は取扱事業者の氏名又は名称
- (5) 漁獲番号又は荷口番号*

*採捕事業者又は取扱事業者の届出通知した番号を含む漁獲に関する16桁の番号

C図 漁獲番号の記載例（水産庁資料）

納品伝票を活用した伝達例		届出番号	取引年月日	取引番号																																
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">納品伝票</td> <td colspan="2">2022年12月1日</td> </tr> <tr> <td>送り先 △△水産 住所 △△△△市00-00 電話番号 000-000-0000</td> <td>出荷者 ○○○漁協 住所 ○○○○市00-00 電話番号 000-000-0000</td> <td colspan="2">漁獲番号：1234567 - 221201 - XXX</td> </tr> <tr> <td>No.</td> <td>品名</td> <td>数量</td> <td>金額</td> <td>備考</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>ナマコ (○○県産)</td> <td>50kg</td> <td>100,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		納品伝票		2022年12月1日		送り先 △△水産 住所 △△△△市00-00 電話番号 000-000-0000	出荷者 ○○○漁協 住所 ○○○○市00-00 電話番号 000-000-0000	漁獲番号：1234567 - 221201 - XXX		No.	品名	数量	金額	備考	1	ナマコ (○○県産)	50kg	100,000		2					3					4					漁獲番号：1234567 - 221201 - XXX	
納品伝票		2022年12月1日																																		
送り先 △△水産 住所 △△△△市00-00 電話番号 000-000-0000	出荷者 ○○○漁協 住所 ○○○○市00-00 電話番号 000-000-0000	漁獲番号：1234567 - 221201 - XXX																																		
No.	品名	数量	金額	備考																																
1	ナマコ (○○県産)	50kg	100,000																																	
2																																				
3																																				
4																																				
①名称 ②重量又は数量 ③譲渡した年月日 ④届出採捕者の氏名又は名称 ⑤漁獲番号		伝票を渡す際に、 取引年月日6桁を記載 (西暦下2桁+年月日4桁)																																		
		取引番号3桁は、 産地の取引実態等に合わせ柔軟に設定 。 ※ナマコ、アワビは分けて下さい。 (例：アワビ XX0 、ナマコ XX5)																																		

③取引記録の作成・保存

採捕事業者、取扱事業者及び小売販売事業者・外食事業者は、特定第一種水産動植物を譲渡したとき、取引記録を作成し、3年間保存する必要があります。

今後も水産物の適正な流通を指導していきます。

水質の保全と「豊かな海」の両立に向けた社会実験について

1 伊勢・三河湾の栄養塩の現状

栄養塩とは、植物の生育に欠かせない海水中の溶存物質で、特に窒素やリンが重要です。高度成長期には海の「富栄養化」が問題となり、伊勢・三河湾では水質規制が進みましたが、現在では「貧栄養化」によりのりの色落ち (A図) や、餌となる植物プランクトンの不足によるあさりの身入りの低下 (B図) が指摘されています。

A図 色落ちしたのり (右)



B図 餌不足で痩せたあさり (右)



2 漁業者の要望と下水道放流水のリン濃度増加試験運転

漁業者からの要望を受けて、県は2017年度から5年間 (2017年度は11~3月、2018、2019年度は10~3月、2020、2021年度は9~3月)、県内2か所の下水道浄化センター (C図) でリン濃度増加試験運転を行ってきました。これは下水道放流水中のリン濃度を水質汚濁防止法に基づく規制基準 (1.0mg/L) の範囲内でできるだけ増加させるもので、試験運転の結果、浄化センターの周辺ではリンの拡散が認められ、のりの色調の回復やあさりの身入り (肥満度) の増加などの効果も見られましたが、その効果範囲は限定的でした。

C図 試験運転を行った浄化センターの位置



3 水質の保全と『豊かな海』の両立に向けた社会実験

2022年度からは、これまで実施してきたリン濃度増加試験運転を拡大する「水質の保全と『豊かな海』の両立に向けた社会実験」を行うこととなりました。

これは、上記2か所の下水道浄化センターにおいて2年間の計画で、下水道放流水中の窒素とリンの濃度の上限を国の規制値上限 (窒素: 20mg/L、リン: 2mg/L) まで緩和して、窒素とリンの濃度を増加させ、環境への影響と漁業への効果を調査するものです (D表)。

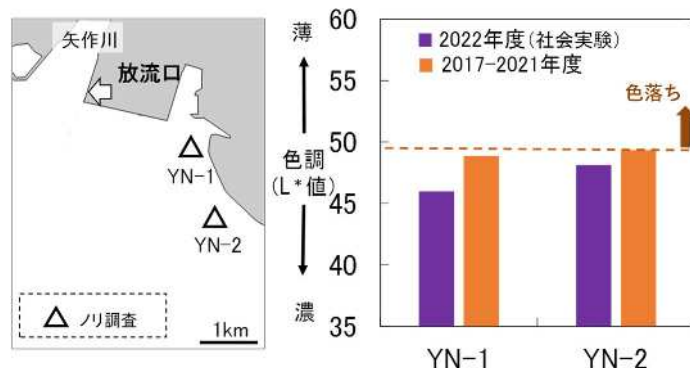
2022年度の結果は、社会実験の中断条件としていた環境への悪影響は見られず、また、のりの色調やあさりの生息量は過去5年のリン増加試験運転時に比べて良好であり、のりやあさりへの効果があったと考えられました (E、F図)。

D表：社会実験とリン濃度増加運転試験の比較

	社会実験	リン濃度増加運転試験
実施場所	矢作川浄化センター、豊川浄化センター	
実施期間	2022年度 11月～3月 2023年度 9月～3月	2017年度 11月～3月 2018, 2019年度 10月～3月 2020, 2021年度 9月～3月
放流濃度の上限	窒素 20mg/l、リン 2mg/L	窒素 10mg/l、リン 1mg/L

E図 矢作川地区におけるのりの色調

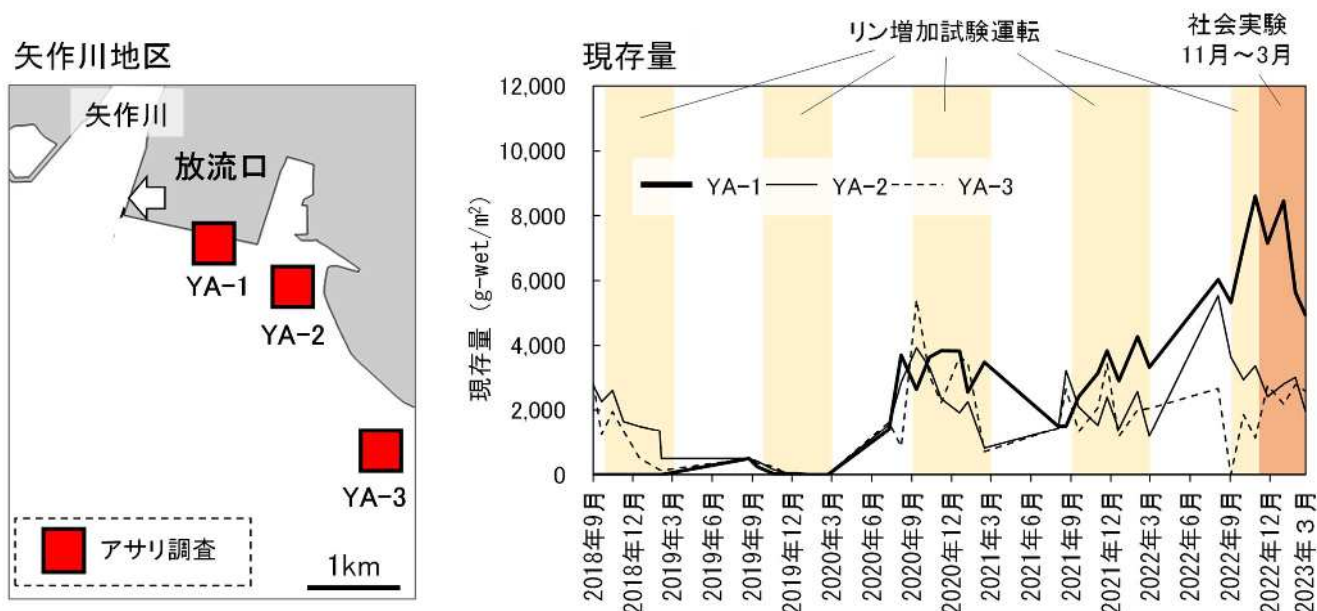
【浄化センター放流口に近い調査地点（YN-1）で色の良いのりが得られ、過去5年と比べても良好。】



L*値：色の良い濃いのにほど値が小さい

F図 矢作川地区におけるあさり現存量（面積当たりの生息量）の推移

【浄化センター放流口に近い調査地点（YA-1）でこれまでと比べ多くのおさがりが生息。】



4 今後について

2023年度も同様の方法で社会実験を実施します。

2024年度以降の栄養塩増加管理運転については、これまでの取組の結果を踏まえ、方向性を決めていきます。

新規就業者確保推進事業について

近年、県では漁業就業者の減少が続いており、本県水産業が将来にわたって持続する上で、新規就業者の確保は課題の一つとなっています。また、漁業は海上での作業が中心であり、漁業就業に興味のある方が実際の作業現場を知ることが困難なため、就業へつながりづらいのが現状です。

上記の課題を解決するため、2022年度から新規事業として、県の漁業に就業する魅力を漁業の現状とともに分かりやすく紹介する動画の制作・配信や、漁業の実態を深く理解してもらうことを目的とした漁業体験研修を実施しました。

1 漁業就業の魅力発信

2022年度は、小型底びき網漁業、船びき網漁業、のり養殖業の3漁業種類の動画を制作・配信しました。それぞれ操業する漁船に乗り込んで撮影し、現役漁業者へのインタビューでは、漁業への思いだけでなく、漁業の魅力や苦勞する点等について、生の声を語ってもらいました。なお、動画のナレーションは、毎週日曜日にCBCで放送されているドキュメンタリー番組「情熱大陸」のナレーションでおなじみの窪田等氏が担当しています。

(1) 小型底びき網漁業

豊浜漁業協同組合に所属する長裕丸(ちょうゆうまる)に密着。網入れ作業や船上での選別、市場のせり等、一日の様子を紹介しています(A図)。

A図 小型底びき網漁業の動画の様子



下記の URL、二次元コードから視聴可能
<https://youtu.be/kIfNpHaKZ9Q>



(2) 船びき網漁業

豊浜漁業協同組合に所属する大漁丸(だいにしょうまる)に密着。イワシの群れの探索から漁獲、港への運搬の様子等、一日の操業の様子を紹介しています(B図)。

B図 船びき網漁業の動画の様子



下記の URL、二次元コードから視聴可能
<https://youtu.be/Ydt8cMUvaXI>



(3) のり養殖業

鬼崎漁業協同組合においてグループでのり養殖に携わる「海風(みなぎ)」のメンバーに密着。1シーズンののり養殖の操業の様子を紹介しています(C図)。

C図 のり養殖業の動画の様子



下記の URL、二次元コードから視聴可能
<https://youtu.be/3MzfiJKMGmg>



2 漁業体験研修

2022年度は、小型底びき網漁業とのり養殖業の体験研修を実施しました。受講者からは、「網をひく場所により獲れる魚が異なることが興味深い」、「選別作業の大変」、「真冬の海での摘採作業が厳しい」といった声が聞かれました。船酔いを感じる受講者もいましたが、無事、研修修了できました。

(1) 小型底びき網漁業

蒲郡漁業協同組合西浦支所に所属する礼月丸(あやつきまる)に乗船して体験。漁具や魚群探知機の説明(D図)を受け、船上に引き上げられた漁獲物の選別(E図)、魚槽への収容を体験しました。

D図 漁具の説明を受ける受講者



E図 選別作業の様子



(2) のり養殖業

鬼崎漁業協同組合で、海上で摘採作業の様子を見学(F図)した後、板のりが出来上がるまでの様子を見学(G図)しました。

F図 摘採作業の見学



G図 のり加工場の見学



漁獲成績報告が電子化されました

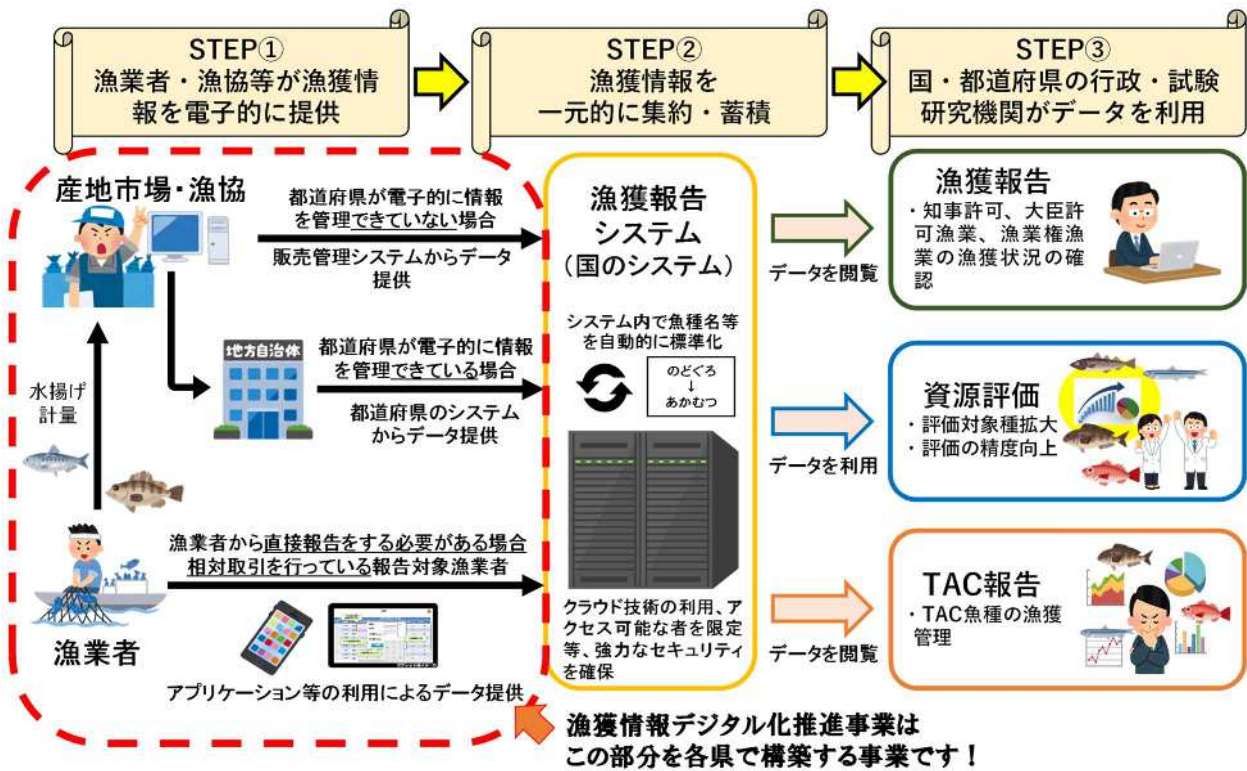
(漁獲情報デジタル化推進事業)

1 漁獲成績報告とは

国は、水産資源の持続的利用に向けて適切な管理を行うため、改正漁業法で大臣許可漁業に加えて、知事許可漁業についても漁獲報告が義務づけられました。そのため、漁業者は毎月の漁業の方法、操業日数、漁業生産の実績等を県へ報告（以下、漁獲成績報告）する必要があります。

A図 漁獲情報デジタル化推進事業の概要（水産庁資料）

漁獲報告の流れ(概要)と事業の位置づけ



2 漁獲情報デジタル化推進事業

(1) 漁獲報告システム

漁獲報告システムは、水揚げ情報や漁業者の許可情報等の各種データベースを連携させることで漁獲成績報告に必要な情報を効率的に蓄積・管理し、漁獲成績報告や資源評価等に活用するために開発されたシステムで、国が2021年度に構築したものです（A図）。

(2) 事業の目的と概要

漁獲成績報告に関する漁協の事務負担を軽減することを目的に、生産現場での漁獲情報等を電子化して漁獲報告システムに報告するために必要な各市場の販売システムの改修等に対し、国が支援を実施しました。

(3) 県における漁獲情報収集体制の構築

①販売システムでの報告

漁獲量や漁業者等の情報を記録・管理する機能を有した販売システムを利用している漁協については、既存の販売システムを国が開発した漁獲報告システムに対応した設定に改修しました。また、漁獲成績報告を直接メール送信できるようにし、事務作業の軽減を図りました。

②エクセルソフトでの報告

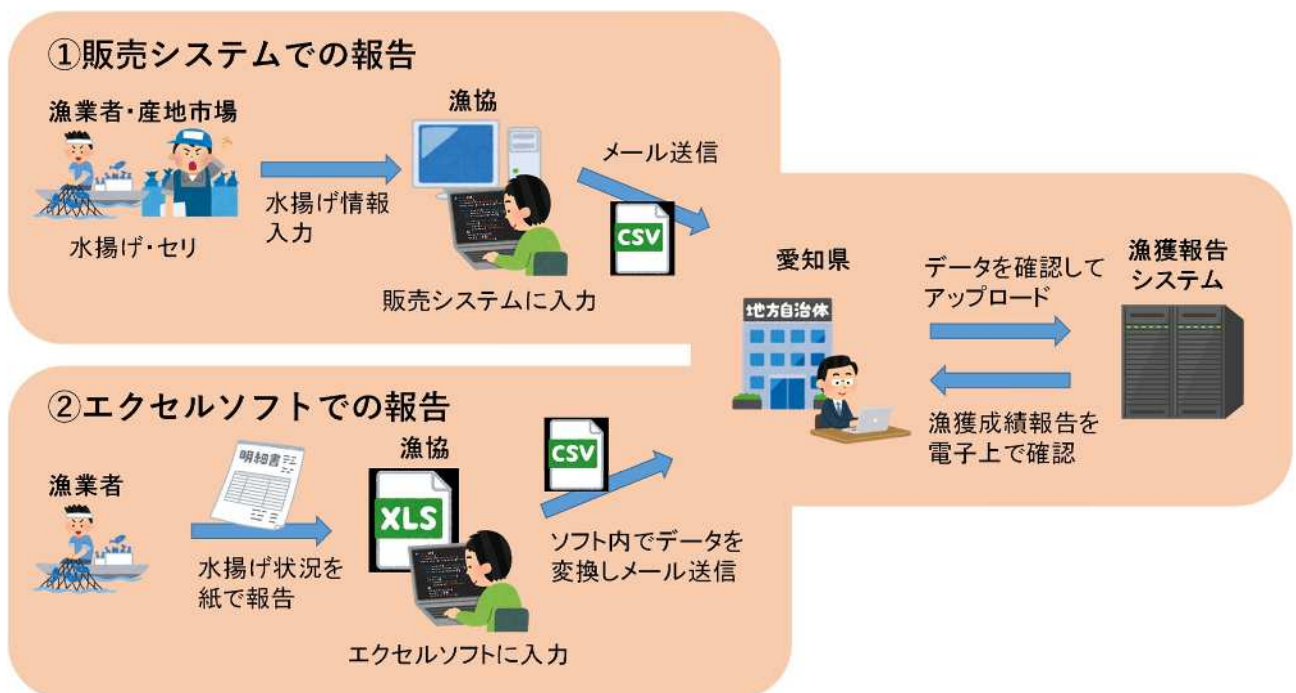
販売システムを持たない漁協については、漁獲報告システムに対応したエクセルソフトを開発、導入しました。このエクセルソフトは、漁業者が紙で報告する漁獲成績報告を漁協が入力することで、漁獲報告システムに対応したデータファイルを作成し、電子的に報告することができます。

3 今後のデータ活用について

漁協から県に報告された漁獲成績報告のデータを国の漁獲報告システムへアップロードすることで、関係機関が電子的に確認等を行い、迅速に漁獲状況等を把握することができるようになりました（B図）。

漁獲報告システムに収集された情報は、県内でのデータ利用だけでなく、資源を適切に管理していくための資源評価や漁業法に規定される漁獲可能量（TAC）制度にも活用され、資源の持続的な利用のために役立てられています。

B図 県における漁獲成績報告の電子的収集体制



日間賀島及び大濱漁協の製氷・貯氷施設が完成しました

1 事業の背景・目的等

日間賀島漁協は、知多半島先端から海上約 2.5 km に位置する南知多町日間賀島にあり、船びき網や小型底びき網などが営まれています。

大濱漁協は、三河湾の北岸西部の碧南市にあり、主に船びき網が営まれています。

船びき網ではイワシ類やシラスなど、小型底びき網ではカレイ類やエビ類など多彩な水産物が水揚げされます。

漁獲された水産物の鮮度を保つには多くの氷が必要となりますが、これらの漁協が保有する製氷・貯氷施設は老朽化により氷の生産能力や貯蔵能力が低下していることから、氷の需要が多くなる繁忙期や気温の高い夏季に氷不足が生じることがありました。

また、保有する施設で冷媒として使われているフロンが 2020 年までに生産及び消費の全廃が法律で定められており、故障した場合に修理ができなくなることが想定され、これらの問題を解消するため、日間賀島及び大濱漁協が新しい製氷・貯氷施設の整備を行いました。

県では、水産業が持続的に発展していくため「愛知県漁業振興計画」を策定し、国の事業も活用しながら県内漁協が行う共同利用施設などへの支援を行っています。新たな施設の整備により、消費者への鮮度の高い水産物の供給と漁業者の計画的な漁業が可能となり、漁業生産の向上が図られます。

2 事業の内容

県事業名：水産業強化対策整備事業

国事業名：浜の活力再生・成長促進交付金（経営構造改善目標）

補助率：日間賀島漁協 国費 5.5/10 以内（離島）、県費 1/5 以内
大濱漁協 国費 1/2 以内、県費 1/5 以内

日間賀島及び大濱漁協の製氷・貯氷施設整備は 2020 年度から始まり、それぞれ 2022 年 7 月 13 日、7 月 22 日に竣工式が行われ、供用を開始しました（B 図、C 図）。

A 表 日間賀島及び大濱漁協の製氷・貯氷施設整備

（単位：円）

事業主体	事業実施主体	事業内容	実施年度	補助対象事業費	負担区分		
					国費	県費	地元
南知多町	日間賀島漁協	鉄骨造2階建 製氷20t/日、貯氷45t	2020～2022	372,315,000	204,773,250	74,463,000	93,078,750
碧南市	大濱漁協	RC造（一部鉄骨）3階建 製氷40t/日、貯氷225t	2020～2022	626,891,000	300,085,000	120,034,000	206,772,000

3 施設の広域的な有効活用

漁協が整備した製氷・貯氷施設は所属する漁業者が主に利用することになりますが、施設の維持管理には経費も多くかかることから、施設を保有しない漁協もあります。そこで、地域の中で施設のない漁協への氷の供給、氷が不足した時や保有する施設が故障した時などの氷の供給などについて、「浜の活力再生プラン」や「浜の活力再生広域プラン」の中で取り組み、地域内の氷の供給を共同化することで製氷・貯氷施設の維持管理にかかる経費の削減と氷の安定供給の実現を図っています（D 図）。

B図 日間賀島漁協の製氷・貯氷施設



施設外観



竣工式の様子

C図 大濱漁協の製氷・貯氷施設

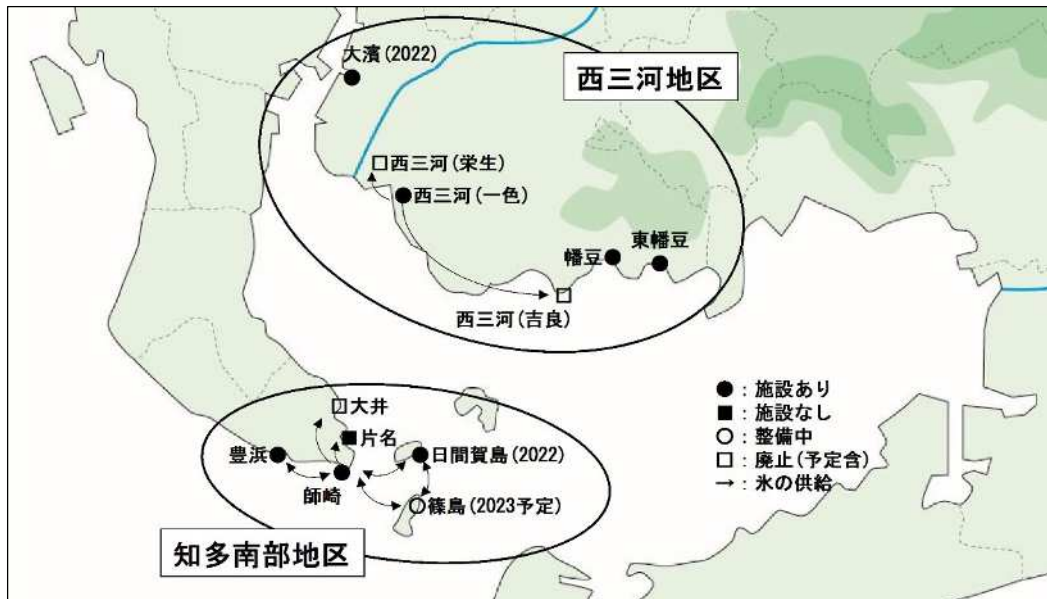


施設外観



竣工式の様子

D図 地域の製氷・貯氷施設と供給体制



[資料編]

目次

I 愛知の水産業

- 1 経済活動別県内純生産 30
- 2 経済活動別就業者数 30
- 3 愛知県の漁業・養殖業全国順位 31・32

II 漁業経営

- 4 階層別地域別海面漁業・養殖業経営体数 33
- 5 主とする漁業種類別経営体数 34
- 6 市町別海面漁業・養殖業経営体数 34
- 7 新規漁業就業者数 35
- 8 漁業権免許件数一覧表 35
- 9 遊漁船業者登録件数 35
- 10 漁家経済 35
- 11 漁業近代化資金利子補給承認状況 36
- 12 漁業振興資金融資状況 36
- 13 沿岸漁業改善資金融資状況 36
- 14 地域別海水動力漁船隻数 37

III 漁場と資源

- 15 赤潮の経年変化（月別、水域別）、苦潮発生状況とその漁業被害 38
- 16 漁港整備計画別事業費実績 39
- 17 沿岸漁業構造改善事業等実績 39
- 18 水産振興対策事業実績 39
- 19 漁場整備事業実績 40

IV 漁業生産

- 20 漁業総生産 41
- 21 主要市町別海面漁業・養殖業生産量 41
- 22 海面漁業魚種別漁獲量 42
- 23 海面漁業魚種別産出額 43
- 24 海面漁業種類別魚種別漁獲量 44
- 25 地域別のり生産枚数（暦年） 45
- 26 内水面漁業魚種別漁獲量 46
- 27 内水面漁業魚種別産出額 46
- 28 内水面養殖業魚種別収獲量 46
- 29 内水面養殖業魚種別産出額 46
- 30 観賞魚養殖状況 47
- 31 しらすうなぎ池入数量 47

V 流通加工

32 中央卸売市場における水産物の取扱数量・金額、平均価格	48
-------------------------------	----

(付属資料)

33 沿海漁業協同組合及び内水面漁業協同組合の位置図	49
34 2021年度の主な水産年譜	50
35 愛知県の水産業に関する地勢	50

*使用上の注意

◎表によっては、四捨五入のため計と内訳が一致しない場合がある。

◎内水面養殖業の総生産量には、観賞魚の生産量を含まない。

◎内水面養殖業の総産出額には、観賞魚の産出額を含む。

I 愛知の水産業

1 経済活動別県内純生産

(単位：百万円)

項目	年度	2015	2016	2017	2018	2019	2020
1 産 業		26,815,315	25,828,855	26,436,521	26,667,097	25,216,377	23,324,064
(1) 第 1 次 産 業		113,904	125,037	134,181	115,039	114,775	104,691
農 業		96,797	106,640	115,188	97,461	96,979	88,762
林 業		1,484	1,555	1,509	1,561	1,744	1,622
水 産 業		15,623	16,841	17,483	16,017	16,052	14,307
(2) 第 2 次 産 業		11,616,718	10,584,475	10,800,804	10,981,113	9,614,181	9,099,220
鉱 業		4,317	3,646	4,186	3,958	4,009	4,049
製 造 業		10,226,870	9,146,774	9,380,177	9,582,776	8,160,938	7,697,307
建 設 業		1,385,531	1,434,055	1,416,441	1,394,379	1,449,234	1,397,864
(3) 第 3 次 産 業		15,084,693	15,119,343	15,501,536	15,570,945	15,487,421	14,120,153
電気・ガス・水道・廃棄物処理業		489,407	405,673	440,403	442,132	428,378	400,184
卸 売 ・ 小 売 業		3,974,564	3,888,498	4,056,414	4,031,386	3,861,518	3,484,758
運 輸 ・ 郵 便 業		1,360,028	1,342,219	1,444,555	1,450,058	1,425,274	889,133
情 報 通 信 業		790,132	852,305	854,382	870,971	861,505	841,434
金 融 ・ 保 険 業		1,048,086	991,293	1,011,200	1,038,500	1,073,299	1,051,799
不 動 産 業		2,015,147	2,049,053	2,061,783	1,969,507	1,987,066	1,998,373
サ ー ビ ス 業		5,407,329	5,590,302	5,632,799	5,768,391	5,850,381	5,454,472
2 一 般 政 府		1,491,430	1,494,599	1,509,879	1,516,295	1,504,163	1,519,979
3 対 家 計 民 間 非 営 利 団 体		513,996	522,594	547,975	537,431	575,952	603,136
合 計		28,820,741	27,846,048	28,494,375	28,720,823	27,296,492	25,447,178

資料：あいちの県民経済計算（県統計課）

2 経済活動別就業者数（従業地ベース）

(単位：人)

項目	年度	2015	2016	2017	2018	2019	2020
1 産 業		3,723,125	3,750,626	3,784,454	3,812,692	3,836,798	3,828,645
(1) 第 1 次 産 業		84,641	83,734	82,955	82,068	80,862	80,243
農 業		79,215	78,531	77,961	77,276	76,269	75,819
林 業		869	868	865	852	833	834
水 産 業		4,557	4,335	4,129	3,940	3,760	3,590
(2) 第 2 次 産 業		1,306,590	1,308,382	1,315,278	1,323,833	1,311,825	1,306,204
鉱 業		1,056	1,015	982	944	894	859
製 造 業		1,030,639	1,030,265	1,036,775	1,044,927	1,034,290	1,028,638
建 設 業		274,895	277,102	277,521	277,962	276,641	276,707
(3) 第 3 次 産 業		2,665,904	2,696,209	2,727,631	2,750,444	2,790,476	2,787,861
電気・ガス・水道・廃棄物処理業		33,279	34,384	34,971	32,143	33,879	34,310
卸 売 ・ 小 売 業		660,002	664,722	661,518	656,016	657,942	663,538
運 輸 ・ 郵 便 業		257,432	261,851	266,723	268,166	269,883	271,515
情 報 通 信 業		90,250	90,775	90,776	92,355	95,078	101,931
金 融 ・ 保 険 業		86,621	86,141	85,130	84,928	82,761	82,020
不 動 産 業		58,032	58,773	60,164	59,843	61,108	62,393
サ ー ビ ス 業		1,480,288	1,499,563	1,528,349	1,556,993	1,589,825	1,572,154
2 一 般 政 府		191,563	193,633	195,706	196,930	198,474	197,914
3 対 家 計 民 間 非 営 利 団 体		142,447	144,066	145,704	146,723	147,891	147,749
合 計		4,057,135	4,088,325	4,125,864	4,156,345	4,183,163	4,174,308

資料：あいちの県民経済計算（県統計課）

注）「あいちの県民経済計算」の計数は、最近の年度を中心に推計方法の改善等により改定を行うことがあります。

3 愛知県の漁業・養殖業全国順位 (2021年)

(1) 生産量

(単位：t)

区分	年	順位					全国
		1位	2位	3位	4位	5位	
海面漁業	2012	北海道 1,141,061	長崎 245,424	静岡 220,070	三重 181,623	16位 愛知 75,171	3,757,869
	2013	北海道 1,141,234	長崎 244,050	静岡 197,199	宮城 184,507	12位 愛知 81,039	3,733,824
	2014	北海道 1,103,885	長崎 240,390	茨城 223,721	静岡 197,137	13位 愛知 80,949	3,716,076
	2015	北海道 864,389	長崎 295,998	茨城 225,313	静岡 206,656	16位 愛知 72,056	3,549,740
	2016	北海道 749,912	長崎 286,490	茨城 244,372	静岡 183,378	13位 愛知 77,711	3,263,618
	2017	北海道 738,957	長崎 317,069	茨城 295,345	静岡 202,227	15位 愛知 69,970	3,258,020
	2018	北海道 876,625	長崎 290,591	茨城 259,031	静岡 195,419	17位 愛知 61,727	3,359,530
	2019	北海道 882,301	茨城 290,796	長崎 250,771	宮城 195,460	16位 愛知 59,934	3,228,025
	2020	北海道 894,911	茨城 302,213	長崎 228,051	静岡 184,055	17位 愛知 53,459	3,213,035
	2021	北海道 910,347	茨城 299,686	静岡 249,515	長崎 247,359	16位 愛知 52,835	3,236,480
海面養殖業	2012	北海道 134,041	広島 117,879	佐賀 82,162	兵庫 78,928	18位 愛知 15,496	1,039,504
	2013	北海道 138,726	広島 110,644	佐賀 80,480	愛媛 66,160	15位 愛知 15,338	996,331
	2014	北海道 138,455	広島 120,050	宮城 73,785	兵庫 66,121	19位 愛知 14,906	987,639
	2015	北海道 166,125	広島 110,730	青森 101,091	宮城 76,752	21位 愛知 12,679	1,069,017
	2016	青森 120,913	北海道 111,291	広島 99,695	宮城 84,546	19位 愛知 13,330	1,032,507
	2017	広島 107,243	宮城 91,418	北海道 82,418	青森 79,531	19位 愛知 13,746	986,056
	2018	北海道 118,509	広島 107,678	青森 84,968	兵庫 81,231	21位 愛知 11,213	1,004,871
	2019	広島 101,952	青森 99,138	宮城 75,268	北海道 73,851	21位 愛知 9,744	913,775
	2020	広島 99,158	北海道 94,115	宮城 83,798	青森 81,374	21位 愛知 10,292	970,081
	2021	北海道 108,567	広島 95,143	宮城 83,040	青森 79,884	21位 愛知 8,264	926,594
内水面漁業	2012	北海道 14,973	青森 5,881	島根 2,074	茨城 1,631	28位 愛知 33	32,945
	2013	北海道 12,389	青森 5,216	茨城 2,407	島根 2,091	15位 愛知 302 (422)	30,702
	2014	北海道 11,238	青森 5,388	島根 3,731	茨城 2,352	18位 愛知 192 (319)	30,603
	2015	北海道 13,396	青森 5,957	島根 4,092	茨城 1,884	26位 愛知 53 (165)	32,917
	2016	北海道 10,104	青森 5,193	島根 4,241	茨城 1,881	26位 愛知 47 (145)	27,937
	2017	北海道 7,635	青森 4,835	島根 4,077	茨城 2,551	27位 愛知 35 (123)	25,215
	2018	北海道 10,101	島根 4,250	青森 4,147	茨城 2,520	24位 愛知 65 (148)	26,957
	2019	北海道 6,377	島根 4,090	青森 3,859	茨城 2,605	26位 愛知 36 (111)	21,767
	2020	北海道 7,106	島根 4,121	青森 3,300	茨城 2,438	30位 愛知 18 (84)	21,745
	2021	北海道 5,310	島根 4,254	青森 2,887	茨城 2,382	40位 愛知 1 (64)	18,904
内水面養殖	2012	鹿児島 7,239	愛知 5,114	宮崎 4,014	静岡 3,312	長野 1,757	33,957
	2013	鹿児島 5,880	愛知 4,381	宮崎 3,687	静岡 3,003	長野 1,660	30,496
	2014	鹿児島 6,943	愛知 6,222	宮崎 3,902	静岡 2,864	長野 1,566	33,871
	2015	鹿児島 8,277	愛知 6,485	宮崎 4,047	静岡 3,256	長野 1,599	36,336
	2016	鹿児島 8,074	愛知 6,127	宮崎 3,945	静岡 3,112	長野 1,654	35,198
	2017	鹿児島 8,653	愛知 7,146	宮崎 3,914	静岡 3,139	長野 1,607	36,839
	2018	鹿児島 6,468	愛知 4,858	宮崎 3,133	静岡 2,761	長野 1,600	29,849
	2019	鹿児島 7,169	愛知 5,725	宮崎 3,604	静岡 2,784	長野 1,591	31,108
	2020	鹿児島 7,125	愛知 5,668	宮崎 3,252	静岡 2,499	長野 1,306	29,087
	2021	鹿児島 8,837	愛知 6,712	宮崎 3,933	静岡 2,575	長野 1,322	32,854

資料：海面漁業生産統計調査、内水面漁業生産統計調査（農林水産省統計部）

注）内水面漁業における括弧内の数値は県調べ。
海面漁業以外の愛知県順位は秘匿権を除いた参考値である。

(2) 産出額

(単位：億円)

区分	年	順位					全国
		1位	2位	3位	4位	5位	
海面漁業	2012	北海道 2,253	長崎 640	静岡 569	宮城 392	16位 愛知 185	9,153
	2013	北海道 2,592	長崎 642	静岡 496	宮城 437	18位 愛知 165	9,478
	2014	北海道 2,636	長崎 638	静岡 509	宮城 472	19位 愛知 167	9,666
	2015	北海道 2,608	長崎 681	静岡 559	宮城 530	19位 愛知 180	10,008
	2016	北海道 2,494	長崎 644	静岡 547	宮城 527	19位 愛知 144	9,619
	2017	北海道 2,443	長崎 679	静岡 579	宮城 563	20位 愛知 126	9,628
	2018	北海道 2,382	長崎 636	宮城 563	静岡 529	17位 愛知 173	9,379
	2019	北海道 2,068	長崎 629	宮城 585	静岡 464	19位 愛知 159	8,682
	2020	北海道 1,801	長崎 564	宮城 487	静岡 432	18位 愛知 131	7,735
	2021	北海道 2,287	長崎 571	静岡 485	宮城 443	16位 愛知 135	8,037
海面養殖業	2012	愛媛 591	鹿児島 476	北海道 325	熊本 281	21位 愛知 45	4,135
	2013	愛媛 594	鹿児島 511	北海道 392	長崎 279	21位 愛知 37	4,059
	2014	愛媛 550	鹿児島 544	北海道 449	長崎 326	22位 愛知 45	4,443
	2015	北海道 587	鹿児島 556	愛媛 553	長崎 319	22位 愛知 40	4,866
	2016	愛媛 655	鹿児島 548	北海道 506	熊本 359	22位 愛知 45	5,097
	2017	愛媛 614	鹿児島 530	熊本 381	長崎 378	20位 愛知 51	4,979
	2018	愛媛 684	鹿児島 535	北海道 368	長崎 360	22位 愛知 36	4,861
	2019	愛媛 662	鹿児島 549	長崎 384	熊本 325	22位 愛知 35	4,802
	2020	愛媛 586	鹿児島 467	長崎 328	熊本 287	22位 愛知 29	4,368
	2021	愛媛 695	鹿児島 472	長崎 365	熊本 299	22位 愛知 20	4,515

資料：海面漁業生産統計調査、内水面漁業生産統計調査（農林水産省統計部）

注) 内水面産出額の都道府県別統計は公表されていない。
海面漁業以外の愛知県順位は秘匿権を除いた参考値である。

Ⅱ 漁業経営

4 階層別地域別海面漁業・養殖業経営体数

年	階層 地域	総数	漁船 非使用	無動力船	1 t 未満	1 ~ 5 t	5 t 以上	小型定置 地びき網	浅海養殖
1998	県計	3,051	40	—	683	850	613	63	802
	海部	4	—	x	—	—	—	—	—
	知多	1,542	—	x	x	x	x	x	x
	西三河	876	x	—	x	x	x	x	x
	東三河	629	x	x	x	x	x	x	x
2003	県計	2,790	75	1	768	820	558	62	506
	海部	3	—	x	—	—	—	—	—
	知多	1,349	—	x	152	576	305	26	x
	西三河	847	x	—	x	x	x	x	x
	東三河	591	x	x	x	x	x	x	x
2008	県計	2,530	96	2	805	701	515	47	364
	知多	1,199	1	—	168	470	300	20	240
	西三河	736	x	x	x	x	x	x	x
	東三河	595	x	x	x	x	x	x	x
2013	県計	2,348	58	1	851	657	470	44	267
	知多	1,104	1	—	200	392	280	20	211
	西三河	695	x	x	x	x	x	x	x
	東三河	549	23	1	303	110	71	15	26
2018	県計	1,924	61	—	719	487	398	43	216
	知多	993	x	x	x	x	x	x	x
	西三河	479	x	x	x	x	x	x	x
	東三河	452	37	—	283	42	48	12	30

資料：漁業センサス
(農林水産省統計部)

5 主とする漁業種類別経営体数

区分 \ 年	1998	2003	2008	2013	2018
県 計	3,051	2,790	2,530	2,348	1,924
沖合底びき網	4	4	4	4	4
小型底びき網	638	603	539	492	388
まき網	7	7	4	-	-
刺網	256	263	226	183	193
釣	279	279	204	184	171
はえ縄	16	29	23	7	7
地びき網	17	16
船びき網	130	115	106	102	110
小型定置網	63	62	47	44	43
その他の網漁業	21	4	5
採貝	491	649
採藻	25	17
採貝・採藻	747	796	536
潜水器漁業	...	126	113	124	125
その他の漁業	...	130	132	141	126
のり養殖業	762	467	341	233	184
わかめ養殖業	15	14	19	31	31
その他養殖業	8	9	4	3	1

資料：漁業センサス
(農林水産省統計部)

6 市町別海面漁業・養殖業経営体数

市町 \ 年	1998	2003	2008	2013	2018
県 計	3,051	2,790	2,530	2,348	1,924
弥富市	4	3	-	-	-
東海市	16	-	-	-	-
常滑市	340	227	189	171	148
半田市	-	-	-	-	1
武豊町	-	-	-	-	1
美浜町	149	133	117	105	86
南知多町	1,037	989	893	828	757
碧南市	65	56	47	60	25
西尾市	81	62	52	634	454
一色町	516	531	459		
吉良町	103	95	79		
幡豆町	111	102	98		
刈谷市	-	1	1	1	-
蒲郡市	113	95	81	66	68
御津町	25	-	-	-	-
豊橋市	89	9	15	-	-
田原市	48	58	499	483	384
赤羽根町	11				
渥美町	343	429			

資料：漁業センサス (農林水産省統計部)

注) 2003年に田原町と赤羽根町が合併したため、統計上の区分が田原市となった。
2005年に田原市と渥美町が合併したため、統計上の区分が田原市となった。
2011年に西尾市、一色町、吉良町、幡豆町が合併したため、統計上の区分が西尾市となった。

7 新規漁業就業者数

年度	海部	知多	西三河	新城設楽	東三河	計	中学校卒	高等学校卒	その他学卒	その他(転職等)
2016	2	8	3	0	5	18	1	4	1	12
2017	0	10	2	2	7	21	1	4	2	14
2018	0	10	0	0	2	12	0	3	2	7
2019	1	9	2	0	2	14	0	6	0	8
2020	0	9	1	2	3	15	3	1	2	9
2021	0	8	2	0	3	13	0	3	1	9

資料：県水産課調べ

8 漁業権免許件数一覧表

種類 内訳	共同漁業権				区画 漁業権	合計	
	第1種 第2種	第3種 (つきいそ)	第5種	計			
海面	知多	12	71	-	83	38	121
	西三河	5	30	-	35	21	56
	東三河	19	19	-	38	37	75
	小計	36	120	0	156	96	252
内水面	-	-	23	23	2	25	
県計	36	120	23	179	98	277	

注) 1. 海面第3種共同漁業権については、つきいそ以外は第1種・第2種の欄に含めてある。

2. 2023年1月1日現在の件数である。

資料：県水産課調べ

9 遊漁船業者登録件数 (2022年3月31日現在)

地区	尾張・名古屋市	海部	知多	西三河	東三河	その他	計
遊漁船業者数 (うち漁協所屬業者数)	45 (0)	14 (1)	170 (149)	34 (13)	30 (18)	8 (0)	301 (181)
遊漁船隻数 (うち漁船隻数)	48 (0)	17 (1)	222 (174)	47 (23)	35 (23)	8 (0)	377 (221)

注) その他は、豊田加茂地区、新城設楽地区の合計

資料：県水産課調べ

10 漁家経済

(単位：千円)

年	項目	事業所得	漁労外事業所得				漁労収入	漁労所得								
			漁労所得	漁労外事業所得	漁労外事業収入	漁労外事業支出		漁労支出								
								計	雇用労賃	漁船・漁具費	油費	種苗代	修繕費	販売手数料	減価償却費	その他支出
漁船漁業	2012	3,812	3,775	37	43	6	11,917	8,142	1,880	642	1,159	-	999	573	624	2,265
	2017	3,423	3,142	281	419	138	10,031	6,889	1,966	503	895	1	498	552	670	1,804
	2018	2,492	2,289	203	355	152	9,365	7,076	1,950	532	1,105	1	528	507	699	1,754
	2019	3,232	2,995	237	379	142	11,288	8,293	2,013	627	1,330	1	685	662	805	2,170
	2020	2,900	2,573	327	456	129	9,433	6,860	1,499	552	1,069	1	531	489	887	1,832
	2021	3,352	3,046	306	463	157	9,861	6,815	1,588	567	1,125	13	538	516	871	1,597
のり養殖業	2012	8,283	8,227	56	486	430	21,784	13,557	2,103	1,606	1,173	164	1,167	1,417	1,469	4,458
	2017	12,896	12,721	175	348	173	33,520	20,799	3,798	1,415	2,063	209	1,677	2,219	2,075	7,343
	2018	9,130	9,021	109	297	188	30,611	21,590	3,650	2,215	2,454	194	2,004	1,996	2,397	6,680
	2019	4,243	3,657	586	658	72	24,752	21,095	4,934	1,437	2,150	269	1,646	1,569	3,273	5,817
	2020	14,482	14,500	△18	58	76	37,651	23,151	5,201	1,675	2,333	285	1,415	2,402	3,197	6,643
	2021	18,016	17,785	231	722	491	45,670	27,885	4,941	1,628	2,686	463	1,529	2,813	3,895	9,930

注) 調査期間は、歴年(1~12月)。

資料：漁業経営調査(農林水産省統計部)

漁船漁業は2016年以前は東海2県、17年以降は太平洋中区の数値である。

のり養殖業は東海2県の数値である。

11 漁業近代化資金利子補給承認状況

承認額	資金種類		1号資金(漁船)		2号資金		3号資金		4号資金		5号資金		7号資金		共同利用施設			
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
2016	65	676,760	-	-	49	524,880	2	11,900	3	10,680	-	-	9	123,500	-	-	2	5,800
2017	66	1,000,700	-	-	38	348,930	6	82,850	7	26,640	-	-	10	153,500	-	-	5	388,780
2018	62	844,340	1	37,000	35	299,000	8	181,880	1	20,000	-	-	9	162,500	-	-	8	143,960
2019	67	768,540	-	-	40	359,870	3	22,480	4	18,300	-	-	12	252,500	-	-	8	115,390
2020	40	626,610	-	-	16	186,810	9	91,170	1	21,320	-	-	11	207,500	-	-	3	119,810
2021	49	945,410	-	-	21	188,500	6	91,880	-	-	-	-	12	218,500	-	-	10	446,530
合計	349	4,862,360	1	37,000	199	1,907,990	34	482,160	16	96,940	-	-	63	1,118,000	-	-	36	1,220,270

資料：県水産課調べ

12 漁業振興資金融資状況

(単位：千円)

年度	件数	貸付額
2016	6	184,500
2017	5	189,000
2018	6	199,000
2019	5	169,000
2020	4	169,000
2021	4	180,000

資料：県水産課調べ

13 沿岸漁業改善資金融資状況

(単位：千円)

年度	合計				資金種類別内訳											
	年度内融資		年度末貸付残高		経営等改善資金				生活改善資金				青年漁業者等養成確保資金			
	件数	金額	件数	金額	年度内融資	年度末貸付残高	年度内融資	年度末貸付残高	年度内融資	年度末貸付残高	年度内融資	年度末貸付残高	年度内融資	年度末貸付残高		
2016	2	23,360	37	245,840	2	23,360	33	218,286	-	-	-	-	-	-	4	27,554
2017	2	26,140	31	198,746	2	26,140	28	179,414	-	-	-	-	-	-	3	19,332
2018	4	40,800	27	176,103	4	40,800	25	162,993	-	-	-	-	-	-	2	13,110
2019	1	14,000	21	136,461	1	14,000	20	127,573	-	-	-	-	-	-	1	8,888
2020	0	0	16	95,235	-	-	15	88,569	-	-	-	-	-	-	1	6,666
2021	1	23,700	15	85,572	1	23,700	14	81,128	-	-	-	-	-	-	1	4,444
合計	10	128,000	-	-	10	128,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

資料：県水産課調べ

14 地域別海水動力漁船隻数

年	地 域	総数	5t未満	5～10t	10～15t	15t以上
2012	全 県	5,315	4,542	359	379	35
	海 部	51	51	-	-	-
	知 多	2,703	2,192	235	261	15
	西 三 河	1,311	1,143	68	92	8
	東 三 河	1,250	1,156	56	26	12
2017	全 県	4,481	3,783	310	359	29
	海 部	43	43	-	-	-
	知 多	2,365	1,890	210	251	14
	西 三 河	1,040	903	52	80	5
	東 三 河	1,033	947	48	28	10
2018	全 県	4,282	3,596	304	354	28
	海 部	42	42	-	-	-
	知 多	2,301	1,827	209		15
	西 三 河	951	821	51	75	4
	東 三 河	988	906	44	29	9
2019	全 県	4,103	3,443	284	348	28
	海 部	37	37	-	-	-
	知 多	2,209	1,751	197	246	15
	西 三 河	903	775	50	74	4
	東 三 河	954	880	37	28	9
2020	全 県	3,905	3,295	239	344	27
	海 部	38	38	-	-	-
	知 多	2,099	1,662	176	247	14
	西 三 河	850	744	32	70	4
	東 三 河	918	851	31	27	9
2021	全 県	3,833	3,228	238	341	26
	海 部	33	33	-	-	-
	知 多	2,071	1,639	174	244	14
	西 三 河	831	725	33	70	3
	東 三 河	898	831	31	27	9

資料：漁船統計表（水産庁）

Ⅲ 漁場と資源

15-1 赤潮の経年変化（月別）

年度	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	県計
		件数	日数	件数	日数	件数	日数	件数	日数	件数	日数	件数	日数	
2016	件数	0	4	4	[1] 4	8	[1] 8	[3] 5	1	[1] 2	[1] 1	[1] 1	1	31 (31)
	日数	0	13	21	19	58	22	49	8	22	31	6	1	250 (250)
2017	件数	0	5	5	[3] 7	[4] 7	2	4	1	0	2	0	1	27 (27)
	日数	0	26	28	90	75	13	17	3	0	21	0	1	274 (274)
2018	件数	1	[1] 4	[1] 7	[1] 3	6	[1] 4	3	2	1	2	0	1	30 (30)
	日数	2	46	20	39	24	11	45	4	8	22	0	13	234 (234)
2019	件数	1	2	3	[2] 7	2	[1] 3	5	[2] 3	[1] 2	1	[1] 2	4	28 (28)
	日数	17	18	47	77	9	26	20	50	18	17	31	6	336 (336)
2020	件数	0	1	[1] 5	4	1	2	[1] 3	2	0	0	0	0	16 (16)
	日数	0	8	29	20	1	24	16	11	0	0	0	0	109 (109)
2021	件数	2	[1] 3	3	5	[1] 7	4	1	2	2	[1] 1	0	1	28 (28)
	日数	4	14	3	29	39	13	1	2	6	23	0	1	135 (135)
2022	件数	0	3	[1] 5	[1] 4	3	5	[1] 4	0	1	0	0	1	23 (23)
	日数	0	5	18	33	15	14	22	0	15	0	0	1	123 (123)

注) 日数は延べ日数

資料：県水産試験場調べ

[]内の数字は前月から引き続いて発生した件数で内数

()内は渥美外海の発生件数を含む件数

15-2 赤潮の経年変化（水域別）

年度	水域	県計	水域区分		
			伊勢湾	知多湾	渥美湾
2016	件数	31 (31)	6	8	17
	日数	250 (250)	56	31	163
2017	件数	27 (27)	7	7	13
	日数	274 (274)	93	67	114
2018	件数	30 (30)	5	10	15
	日数	234 (234)	67	55	112
2019	件数	28 (28)	8	8	12
	日数	336 (336)	83	102	151
2020	件数	16 (16)	4	5	7
	日数	109 (109)	8	19	82
2021	件数	28 (28)	7	7	14
	日数	135 (135)	7	27	101
2022	件数	23 (23)	6	7	10
	日数	123 (123)	24	42	57

注) 日数は延べ日数

資料：県水産試験場調べ

()内は渥美外海の発生件数を含む件数

15-3 苦潮発生状況とその漁業被害

年度	発生回数	水域区分			漁業被害
		伊勢湾	知多湾	渥美湾	
2016	14 (5)	0	0	14 (5)	魚介類の衰弱、一部の漁場であさり稚貝のへい死
2017	5 (2)	0	0	5 (2)	魚介類の衰弱、一部の漁場であさり稚貝のへい死
2018	6 (2)	0	0	6 (2)	魚介類の衰弱、へい死
2019	2 (1)	0	0	2 (1)	一部の漁場であさり稚貝のへい死
2020	2 (1)	0	0	2 (1)	魚介類の衰弱、へい死
2021	2 (1)	0	0	2 (1)	一部の漁場であさり稚貝のへい死
2022	3 (1)	0	0	3 (1)	魚介類の衰弱、へい死

資料：県水産試験場調べ

注) ()内は魚介類に影響が確認された件数（独立した発生地区ごとに1件とした）

16 漁港整備計画別事業費実績

(単位：千円)

年度	水産基盤整備事業					農山漁村地域整備交付金					地方創生港整備推進交付金	災害	県計	
	流	通生	産機能保全	機能強化	漁村整備	漁村再生	漁港環境	漁集環境	水域環境	海	岸	漁港・海岸		
第4次長計	2018	134,998	0	1,168,943	299,491	0	19,999	0	0	0	436,379	0	0	2,059,810
	2019	154,000	0	983,612	131,898	0	9,997	0	0	0	306,059	15,000	0	1,600,566
	2020	196,999	0	1,083,582	325,880	0	149,999	0	10,000	0	446,804	65,000	0	2,278,264
	2021	64,999	0	876,347	161,075	16,100	77,717	0	0	0	488,265	74,000	0	1,758,503
第5次長計	2022	91,000	0	707,995	269,000	19,600	249,999	0	0	0	437,101	0	272,665	2,047,360
	計	641,996	0	4,820,479	1,187,344	35,700	507,711	0	10,000	0	2,114,608		272,665	9,744,503

繰越分の実績は予算が措置された年度に計上

資料：県水産課調べ

17 沿岸漁業構造改善事業等実績（国庫補助事業）

(1) 漁村コミュニティ基盤整備事業

(単位：千円)

国の事業名	実施年度	事業項目	件数	事業費総額	国費+県費	備考
産地水産業強化支援事業	2012~2013	渡船場上屋施設整備	1件	102,374	53,957	
水産業強化支援事業	2017~2018	渡船場上屋施設整備	1件	133,584	80,817	

資料：県水産課調べ

(2) のり養殖経営構造改善事業

(単位：千円)

国の事業名	実施年度	事業項目	件数	事業費総額	国費+県費	備考
産地水産業強化支援事業	2012~2016	のり共同加工場施設整備	1件	1,712,570	938,723	

資料：県水産課調べ

(3) 水産業競争力強化施設整備事業

(単位：千円)

国の事業名	実施年度	事業項目	件数	事業費総額	国費+県費	備考
水産業競争力強化緊急施設整備事業	2016~2021	鮮度保持施設整備	2件	925,200	462,600	

資料：県水産課調べ

(4) のり競争力強化対策事業

(単位：千円)

国の事業名	実施年度	事業項目	件数	事業費総額	国費+県費	備考
水産業強化支援事業	2017~2018	のり共同加工場施設整備	5件	237,575	142,304	

資料：県水産課調べ

(5) 水産業強化対策整備事業

(単位：千円)

国の事業名	実施年度	事業項目	件数	事業費総額	国費+県費	備考
水産業強化支援事業	2019~2022	鮮度保持施設	9件	1,725,021	1,220,949	

資料：県水産課調べ

18 水産振興対策事業実績（県補助事業）

漁業生産力強化総合対策事業実績

(金額単位：円)

年度	補助対象施設	事業主体	事業実施主体	事業内容	補助対象事業費	負担区分	
						県費	その他
21	漁船保全修理施設	美浜町	美浜町漁協	ユニック付きトラック整備	1,800,000	900,000	900,000
		田原市	小中山漁協	船揚げ用ウインチ整備	6,850,000	3,425,000	3,425,000
	種苗生産施設	常滑市	鬼崎漁協	海水ポンプ整備	1,130,000	565,000	565,000
	燃料等補給施設	常滑市	鬼崎漁協	冷凍庫圧縮機取替	7,775,600	3,887,000	3,888,600
	漁場の耕耘・整地・浚渫	蒲郡市	蒲郡漁協	給油計量機取替	3,000,000	1,500,000	1,500,000
		蒲郡市	蒲郡漁協	トラクター整備	2,914,500	1,457,000	1,457,500

21	水産物荷さばき施設	南知多町	師崎漁協	フィッシュポンプ更新	8,690,000	4,345,000	4,345,000
		常滑市	鬼崎漁協	海水くみ上げポンプと配管の更新	6,991,210	3,495,000	3,496,210
		西尾市	衣崎漁協	シャッター修理	2,900,000	1,450,000	1,450,000
		蒲郡市	蒲郡漁協	市場支柱鋼製補強	3,900,000	1,950,000	1,950,000
		田原市	渥美漁協	海苔出荷場の屋根改修	2,550,000	1,275,000	1,275,000
	水産物鮮度保持施設	西尾市	衣崎漁協	冷凍機更新、冷凍庫改良	19,600,000	7,418,000	12,182,000
		蒲郡市	蒲郡漁協	冷凍庫、冷蔵庫更新	3,640,000	1,820,000	1,820,000
	運搬施設	南知多町	豊浜漁協	フォークリフト整備	1,870,000	935,000	935,000
			師崎漁協	フォークリフト整備	1,620,000	810,000	810,000
			片名・日間賀島漁協	フォークリフト、トラック整備	3,674,327	1,837,000	1,837,327
片名漁協			棧橋改修	935,000	467,000	468,000	
大井漁協		フォークリフト整備	2,170,000	1,085,000	1,085,000		
美浜町		野間漁協	フォークリフト整備	1,980,000	990,000	990,000	
田原市	渥美漁協	軽自動車(バン)整備	867,773	433,000	434,773		
2021年度計					86,120,410	40,675,000	45,445,410
22	燃料等補給施設	西尾市	西三河漁協(一色)	燃油タンク改修	2,950,000	1,475,000	1,475,000
	水産物荷捌き施設	西尾市	衣崎漁協	海苔集荷場シャッター改修	1,280,000	640,000	640,000
		碧南市	大濱漁協	海水取水ポンプ2基	2,420,000	1,210,000	1,210,000
		常滑市	鬼崎漁協	海水取水ポンプ9基	4,356,286	2,178,000	2,178,286
		南知多町	片名・日間賀島漁協	海水取水ポンプ2基	3,320,000	1,660,000	1,660,000
			日間賀島漁協	海苔集出荷場の改修	33,500,000	16,750,000	16,750,000
	蒲郡市	蒲郡漁協(西浦)	市場扉改修	3,436,000	1,718,000	1,718,000	
	水産物鮮度保持施設	南知多町	片名漁協	冷凍庫改修	12,900,000	6,450,000	6,450,000
	水産物加工処理施設	田原市	渥美漁協	金属検出機の導入	1,610,000	805,000	805,000
	漁船保全修理施設	美浜町	野間漁協	漁船上架施設改修	1,580,000	750,000	830,000
南知多町		大井漁協	高圧洗浄機の取替	1,513,350	756,000	757,350	
漁船上架施設	西尾市	西三河漁協(栄生)	巻揚機改修	8,000,000	4,000,000	4,000,000	
漁場の耕耘・整地、浚渫	美浜町	野間漁協	漁場の整地・耕耘	12,000,000	6,000,000	6,000,000	
漁業用保全修理施設	南知多町	片名漁協	ジスリ機の整備	3,454,546	1,727,000	1,727,546	
運搬施設	南知多町	篠島漁協	フォークリフト	4,330,000	2,165,000	2,165,000	
		片名・日間賀島漁協	フォークリフト	2,150,000	1,075,000	1,075,000	
2022年度計					98,800,182	49,359,000	49,441,182

資料：県水産課調べ

19 漁場整備事業実績

(1) あさりとさかな漁場総合整備事業(公共)

年度	箇所数	事業量	事業費	国費	県費	備考				
						千円	千円	千円	地区名	干潟・浅場造成
第4次長計	2017~2021	11	24.9ha 6,663.3空m ³	882,906	431,296	451,610	2017	愛知県海域	西尾、衣崎	高松中部
							2018	"	衣崎、田原	
							2019	"	西尾、田原	
							2020	"	西尾、田原	
							2021	"	西尾、田原	
							2022	伊勢・三河湾・渥美外海	西尾、田原	

資料：県水産課調べ

(2) 貝類増殖場造成事業(非公共)

年度	箇所数	事業量	事業費	国費	県費	備考
2019	1	1.2ha	29,983	13,967	16,016	衣崎地区

資料：県水産課調べ

(3) 貝類増殖場造成事業(公共)

年度	箇所数	事業量	事業費	国費	県費	備考			
						千円	千円	千円	年度
第4次長計	2019~2021	6	6.5ha	171,738	83,325	88,413	2019	愛知県海域	幡豆、吉良
							2020	"	吉田
							2021	"	一色、幡豆、東幡豆
第5次長計	2022~2026	2	2.7ha	138,933	67,942	70,991	2022	伊勢湾・三河湾・渥美外海	一色、大井

資料：県水産課調べ

IV 漁業生産

20 漁業総生産

(単位：t)

項目		年		2012	2017	2018	2019	2020	2021
		海面	内水面						
生産量 (t)	海面	漁業		75,171	69,970	61,727	59,934	53,459	52,835
		養殖業		15,496	13,746	11,213	9,744	10,292	8,264
		計		90,667	83,716	72,940	69,678	63,751	61,099
	内水面	漁業		178	123	148	111	84	64
		養殖業		5,114	7,146	4,858	5,725	5,668	6,712
		計		5,292	7,269	5,006	5,836	5,752	6,776
合計			95,959	90,985	77,946	75,514	69,503	67,875	
きんぎょ (千尾)			13,504	5,987	6,745	6,547	5,496	4,810	
産出額 (百万円)	海面	漁業		18,502	12,632	17,297	15,873	13,123	13,472
		養殖業		4,453	5,105	3,587	3,516	2,856	2,020
		計		22,955	17,737	20,883	19,390	15,979	15,491
	内水面	漁業		386	330	311	262	217	197
		養殖業		13,778	21,531	17,750	21,236	19,256	21,830
		計		14,164	21,861	18,061	21,498	19,473	22,027
合計			37,119	39,598	38,944	40,888	35,452	37,518	
うち きんぎょ			666	333	324	271	321	277	

資料：海面漁業生産統計調査、内水面漁業生産統計調査（農林水産省統計部）、県水産課調べ、県水産課調べ
 注）内水面漁業の生産量、きんぎょは県水産課調べ。
 内水面漁業・養殖業の産出額は、県水産課が推計。
 小数第一位を四捨五入することにより、合計値と一致しないことがある。

21 主要市町別海面漁業・養殖業生産量 (2021年)

(単位：t)

市町	区分		海面漁業	海面養殖業
	市	町		
県計			52,835	8,264
常滑市			x	x
美浜町			x	x
南知多町			31,397	2,225
知多計			31,741	6,154
碧南市			x	—
西尾市			x	1,118
刈谷市			x	—
西三河計			9,644	1,118
蒲郡市			x	x
豊橋市			x	—
田原市			8,894	x
東三河計			11,450	992

注）海面漁業生産統計調査に係る調査票情報を元に集計した数値。

22 海面漁業魚種別漁獲量

(単位：t)

年		2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
魚類	このしろ	274	385	253	179	112	122	110	193	109	65
	まいわし	1,141	1,263	5,927	11,904	18,764	30,209	23,787	10,905	8,880	16,551
	かたくちいわし	15,168	28,829	27,386	14,848	22,570	11,246	8,684	13,510	15,955	7,030
	しらす	7,433	6,229	8,936	11,445	8,445	5,039	6,821	11,433	9,428	9,619
	まあじ	292	303	180	228	214	211	189	379	225	124
	むろあじ類	184	130	134	30	27	20	13	12	6	5
	さば類	166	168	314	208	208	228	74	328	219	37
	ぶり類	68	70	53	68	81	101	74	181	422	60
	さわら類	27	31	40	65	68	148	222	269	261	151
	いかなご	8,209	4,827	6,230	2,247	—	—	—	—	—	—
	ひらめ	167	112	133	186	182	176	214	227	205	125
	かれい類	675	611	627	603	391	341	337	333	309	287
	あなご類	413	313	456	351	319	269	254	233	128	99
	たちうお	47	17	38	49	60	46	66	55	67	x
	にぎす類	556	418	377	419	419	426	351	351	310	272
	まだい	247	219	325	419	551	595	483	651	629	710
	くろだい※1	324	319	409	414	351	356	278	279	260	220
	いさき	20	22	40	22	30	22	27	24	11	11
	すずき類	516	563	542	598	629	458	443	425	377	266
	とらふぐ※2	63	36	61	82	57	69	39	42	34	32
あおめえそ※2	427	351	307	399	460	381	341	341	324	303	
その他魚類	2,925	2,504	2,102	2,562	2,919	2,338	2,331	3,148	2,002	2,260	
計	39,342	47,720	54,870	47,326	56,857	52,801	45,138	43,319	40,161	38,227	
貝類	あさり類	17,562	16,063	10,563	8,282	3,973	1,635	2,741	3,880	1,602	2,364
	さざえ	40	46	47	62	71	83	65	42	50	45
	あわび類	3	4	2	2	2	2	1	1	1	2
	その他貝類	5,189	5,711	4,785	5,728	5,160	4,480	5,145	3,816	2,430	3,009
	計	22,793	21,823	15,398	14,074	9,206	6,200	7,952	7,739	4,083	5,420
水産動物類	するめいか	98	81	96	97	71	81	53	84	53	67
	その他いか類	847	783	947	586	559	630	441	499	412	323
	たこ類	604	702	280	414	594	346	157	520	380	203
	くるまえび	91	62	59	72	79	64	86	83	75	67
	よしえび※2	32	17	13	12	11	18	6	23	21	13
	その他えび類	694	652	714	731	764	365	829	356	465	751
	がざみ類	629	492	341	316	248	219	185	532	640	532
	その他かに類	56	34	39	48	41	47	79	80	94	57
	なまこ類※2	179	130	163	191	150	199	154	122	123	125
	しゃこ※2	377	205	323	266	216	103	216	104	67	51
	その他水産動物類	58	82	44	68	99	45	167	105	176	838
計	3,666	3,240	3,020	2,800	2,831	2,118	2,372	2,509	2,506	3,027	
藻類	9,370	8,256	7,661	7,856	8,817	8,851	6,265	6,367	6,709	6,161	
合計	75,171	81,039	80,949	72,056	77,711	69,970	61,727	59,934	53,459	52,835	

資料：海面漁業生産統計調査（農林水産省統計部）

注）小数第一位を四捨五入することにより、合計値と一致しないことがある。

※1：「くろだい」は2018年以前は「くろだい・へだい」

※2：県調べの魚種（「なまこ類」は2018年以前は県調べ、2019年以降は国調べ）

23 海面漁業魚種別産出額

(単位：百万円)

年		2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
魚類	このしろ	19	30	21	20	15	21	24	22	15	8
	まいわし	120	153	356	631	901	1,297	897	502	414	761
	かたくちいわし	516	951	822	445	745	439	326	851	699	356
	しらす	4,400	2,155	3,592	5,219	3,724	2,786	6,746	5,185	4,582	3,680
	まあじ	198	225	138	148	163	151	138	107	49	31
	むろあじ類	15	12	12	3	5	4	3	2	1	1
	さば類	45	56	61	62	81	86	50	69	23	4
	ぶり類	53	38	35	47	53	52	39	130	195	22
	さわら類	21	29	32	52	59	125	201	204	192	127
	いかなご	624	816	910	510	-	-	-	-	-	-
	ひらめ	131	122	135	172	190	197	314	254	214	121
	かれい類	229	210	220	214	144	137	187	147	123	131
	あなご類	281	229	344	206	242	277	297	197	169	118
	たちうお	22	9	19	23	25	21	17	17	21	x
	にぎす類	90	75	83	84	82	85	67	79	66	56
	まだい	295	220	309	344	428	476	539	546	444	461
	くろだい※1	150	151	178	166	149	170	182	134	110	76
	いさき	33	29	38	24	34	23	22	12	6	6
	すずき類	311	303	296	313	323	264	231	236	166	125
	その他魚類	1,590	1,431	1,382	1,778	1,802	1,554	1,474	1,756	1,059	1,146
計	9,143	7,244	8,983	10,461	9,165	8,165	11,754	10,450	8,548	7,230	
貝類	あさり類	4,865	4,610	3,053	2,476	1,260	830	1,527	1,494	1,181	1,964
	さざえ	25	32	33	42	46	52	43	44	33	32
	あわび類	16	18	10	13	10	10	6	4	10	24
	その他貝類	2,091	2,427	2,508	2,841	1,739	1,659	1,930	1,755	1,179	1,505
	計	6,997	7,088	5,603	5,372	3,054	2,551	3,506	3,297	2,403	3,525
水産動物類	するめいか	25	21	26	27	22	26	23	30	28	41
	その他いか類	313	285	397	241	236	283	313	231	330	228
	たこ類	404	445	199	300	399	334	178	448	267	159
	くるまえび	325	269	263	370	436	380	345	362	298	317
	その他えび類	356	393	430	407	375	265	464	272	315	294
	がざみ類	400	337	278	241	203	183	155	369	487	443
	その他かに類	26	15	18	24	23	25	61	36	40	27
	その他水産動物類	439	334	454	461	388	278	316	206	219	1,023
計	2,287	2,106	2,072	2,071	2,081	1,774	1,855	1,954	1,984	2,532	
藻類	75	66	77	71	106	142	182	172	188	185	
合計	18,502	16,504	16,735	17,975	14,406	12,632	17,297	15,873	13,123	13,472	

資料：海面漁業生産統計調査（農林水産省統計部）

注）小数第一位を四捨五入することにより、合計値と一致しないことがある。

※1：「くろだい」は2018年以前は「くろだい・へだい」

24 海面漁業種類別魚種別漁獲量（2021年）

（単位：t）

漁業種類 魚種	愛知県	うち、主な漁業種類						
		沖合底 びき網	小型底 びき網	船び き網	刺網	はえ縄	釣	その他 漁業
魚 類 計	38,227	1,052	2,788	33,408	464	151	95	269
さ め 類	4	-	3	-	-	-	-	1
こ の し ろ	65	-	2	0	18	-	0	45
ま い わ し	16,551	0	3	16,535	0	-	0	13
う る め い わ し	16	-	0	16	-	-	-	0
か た く ち い わ し	7,030	-	1	7,029	0	-	-	0
し ら す	9,619	-	-	9,619	-	-	-	-
ま あ じ	124	12	92	6	1	-	6	7
む ろ あ じ 類	5	-	4	0	0	-	0	1
さ ば 類	37	1	8	26	0	-	2	0
ぶ り 類	60	-	38	4	9	1	3	5
さ わ ら 類	151	-	43	3	98	-	2	5
ひ ら め	125	1	107	0	8	0	7	2
か れ い 類	287	8	216	0	53	1	3	6
あ な ご 類	99	-	43	1	7	-	0	48
た ち う お	x	1	29	1	0	-	0	x
に ぎ す 類	272	186	85	-	0	-	0	1
ま だ い	710	42	609	24	25	0	9	1
く ろ だ い	220	-	186	2	16	-	5	11
い さ き	11	-	9	-	0	-	1	1
す ず き 類	266	-	191	20	16	-	22	17
ふ ぐ 類	402	-	237	3	5	149	3	5
そ の 他 魚 類	x	801	882	119	208	0	32	x
貝 類 計	5,420	-	1,020	-	20	-	-	4,380
あ さ り 類	2,364	-	304	-	-	-	-	2,060
さ ざ え	45	-	-	-	20	-	-	25
あ わ び 類	2	-	-	-	0	-	-	2
そ の 他 貝 類	3,009	-	716	-	-	-	-	2,293
水 産 動 物 類 計	3,027	99	1,122	1,299	191	-	4	311
す る め い か	67	25	40	-	0	-	-	2
そ の 他 い か 類	323	8	279	0	26	-	0	10
た こ 類	203	-	117	-	12	-	5	69
く る ま え び	67	-	56	-	12	-	-	0
そ の 他 え び 類	807	66	230	504	8	-	-	0
が ざ み 類	532	-	298	0	91	-	-	143
そ の 他 か に 類	57	-	16	-	34	-	-	7
な ま こ 類	125	-	45	-	1	-	-	79
う に 類	0	-	-	-	0	-	-	0
そ の 他 水 産 動 物 類	846	0	41	795	7	-	-	1
藻 類	6,161	-	1	-	-	-	-	6,161
合 計	52,835	1,151	4,931	34,707	675	151	99	11,121

資料：海面漁業生産統計調査（農林水産省統計部）

注）小数第一位を四捨五入することにより、合計値と一致しないことがある。
中・小型まき網、遠洋かつお一本釣、ひき縄釣は秘匿値のため含まない。

25 地域別のり生産枚数（暦年）

	地 域	生産量						産出額 (百万円)
		生換算重量 (単位：t)	板 の り				その他 生重量 (t)	
			生産枚数 (千枚)	くろのり (千枚)	まぜのり (千枚)	あおのり (千枚)		
2012	県 計	15,003	398,591	380,456	4,016	14,119	54	4,042
	知 多	11,794	313,053	313,053	—	—	54	—
	西三河	2,455	65,455	65,455	—	—	—	—
	東三河	755	20,083	1,948	4,016	14,119	—	—
2017	県 計	13,228	345,317	334,044	x	x	27	4,817
	知 多	11,312	300,933	x	x	—	27	—
	西三河	1,302	34,709	32,908	1,801	—	—	—
	東三河	615	9,675	x	1,905	x	—	—
2018	県 計	10,756	278,721	264,003	x	x	20	3,298
	知 多	8,820	234,658	x	x	—	20	—
	西三河	1,198	31,835	29,459	2,376	—	—	—
	東三河	739	12,228	x	3,583	x	—	—
2019	県 計	9,403	244,550	230,846	x	x	27	3,293
	知 多	7,588	201,616	x	x	—	27	—
	西三河	1,159	30,412	28,080	2,332	—	—	—
	東三河	657	12,522	x	3,067	x	—	—
2020	県 計	9,913	256,676	243,230	x	7,257	x	2,644
	知 多	8,294	220,836	x	x	—	x	—
	西三河	996	26,367	22,308	4,059	—	—	—
	東三河	623	9,473	x	x	7,257	—	—
2021	県 計	x	202,422	x	x	11,001	x	x
	知 多	x	159,852	x	x	—	x	—
	西三河	1,071	28,549	26,180	2,369	—	—	—
	東三河	905	14,021	x	x	11,001	—	—

注) 1月～12月

資料：海面漁業生産統計調査（農林水産省統計部）

2003年からは、地域別の板のり生産額の統計データは公表されていない。

2019年より海面漁業生産統計調査に係る調査票情報を集計した数値。

26 内水面漁業魚種別漁獲量

(単位：t)

年		2016	2017	2018	2019	2020	2021
魚類	ます類	14	13	12	11	12	13
	あゆ	76	69	66	57	49	45
	こい	3	2	2	2	2	2
	ふな	5	5	3	3	2	2
	その他	3	2	2	2	2	1
	貝類(しじみ)	44	32	63	35	17	0
その他水産動物類		0	0	0	0	0	0
計		145	123	148	111	84	64

注) 小数第1位を四捨五入するため、合計と一致しないことがある。
「貝類(しじみ)」は農林水産統計公表値による。

資料：県水産課調べ

27 内水面漁業魚種別産出額

(単位：百万円)

年		2016	2017	2018	2019	2020	2021
魚類	ます類	28	28	24	22	25	37
	あゆ	266	278	249	217	174	155
	こい	2	1	1	1	1	1
	ふな	3	3	2	1	1	1
	その他	3	4	4	4	4	3
	貝類(しじみ)	26	19	32	17	10	0
その他水産動物類		0	0	0	0	0	1
計		328	330	311	262	215	197

注) 小数第1位を四捨五入するため、合計と一致しないことがある。

資料：県水産課が全国平均単価をもとに推計

28 内水面養殖業魚種別収獲量

(単位：t)

年		2016	2017	2018	2019	2020	2021
にじます		154	176	157	167	137	148
その他ます類		49	35	x	x	x	x
あゆ		1,182	1,156	1,220	1,171	1,189	1,247
こい		—	—	x	x	x	x
うなぎ		4,742	5,780	3,459	4,357	4,315	5,288
計		6,127	7,146	4,858	5,725	5,668	6,712

資料：内水面漁業生産統計調査(農林水産省統計部)

注) 2018年から2021年のます類は、にじますのみの数値(その他のます類は秘匿値)。

29 内水面養殖業魚種別産出額

(単位：百万円)

年		2016	2017	2018	2019	2020	2021
にじます		130	155	149	150	129	153
その他ます類		76	55	x	x	x	x
あゆ		1,584	1,671	1,840	1,766	1,832	1,998
こい		—	—	x	x	x	x
うなぎ		16,298	19,195	15,330	18,927	16,975	19,402
きんぎょ		430	333	324	271	321	277
計		18,626	21,531	17,750	21,235	19,356	21,830

資料：県水産課が全国平均単価をもとに推計、水産課調べ

注) ます類、あゆ、うなぎは県水産課が全国平均単価をもとに推計(こい、その他食用を除く)。

30 観賞魚養殖状況

魚種		年					
		2016	2017	2018	2019	2020	2021
きんぎよ	経営体数	91	87	81	75	70	66
	養殖面積 (ha)	64	60	60	52	53	46
	販売量 (千尾)	8,495	5,987	6,745	6,547	5,496	4,810

資料：県水産課調べ

注) 年は前年12月1日から当年11月30日までを示す。

31 しらすうなぎ池入数量

(単位：kg)

地区		年度					
		2016	2017	2018	2019	2020	2021
県内産	海部	2	1	2	1	6	3
	碧海	66	16	0	7	19	17
	西三河	539	642	351	316	1,575	1,006
	東三河	23	134	21	68	265	209
	その他	0	0	0	0	0	0
	計	630	794	375	391	1,865	1,235
県外産	海部	52	53	16	32	41	45
	碧海	241	289	210	132	278	198
	西三河	2,217	2,475	1,313	655	1,631	1,594
	東三河	379	258	219	95	83	150
	その他	0	3	14	0	12	1
	計	2,889	3,078	1,773	914	2,044	1,988
外国産	海部	0	0	0	0	0	0
	碧海	71	66	72	126	70	91
	西三河	1,134	825	723	2,058	645	1,103
	東三河	0	0	18	76	25	12
	その他	28	30	0	30	16	33
	計	1,233	921	813	2,290	756	1,238
県計	海部	54	54	18	32	46	48
	碧海	378	371	282	265	367	306
	西三河	3,891	3,943	2,387	3,029	3,851	3,703
	東三河	401	392	258	239	372	371
	その他	28	33	14	30	28	34
	うち異種うなぎ	55	0	0	1	12	3
	計	4,752	4,793	2,960	3,595	4,665	4,461

資料：県水産課調べ

注) 年度表記は前年12月から当年5月とする。。

異種うなぎを含む数値。

小数第一位を四捨五入することにより、合計値と一致しないことがある。

V 流通加工

32 中央卸売市場における水産物の取扱数量・金額、平均価格

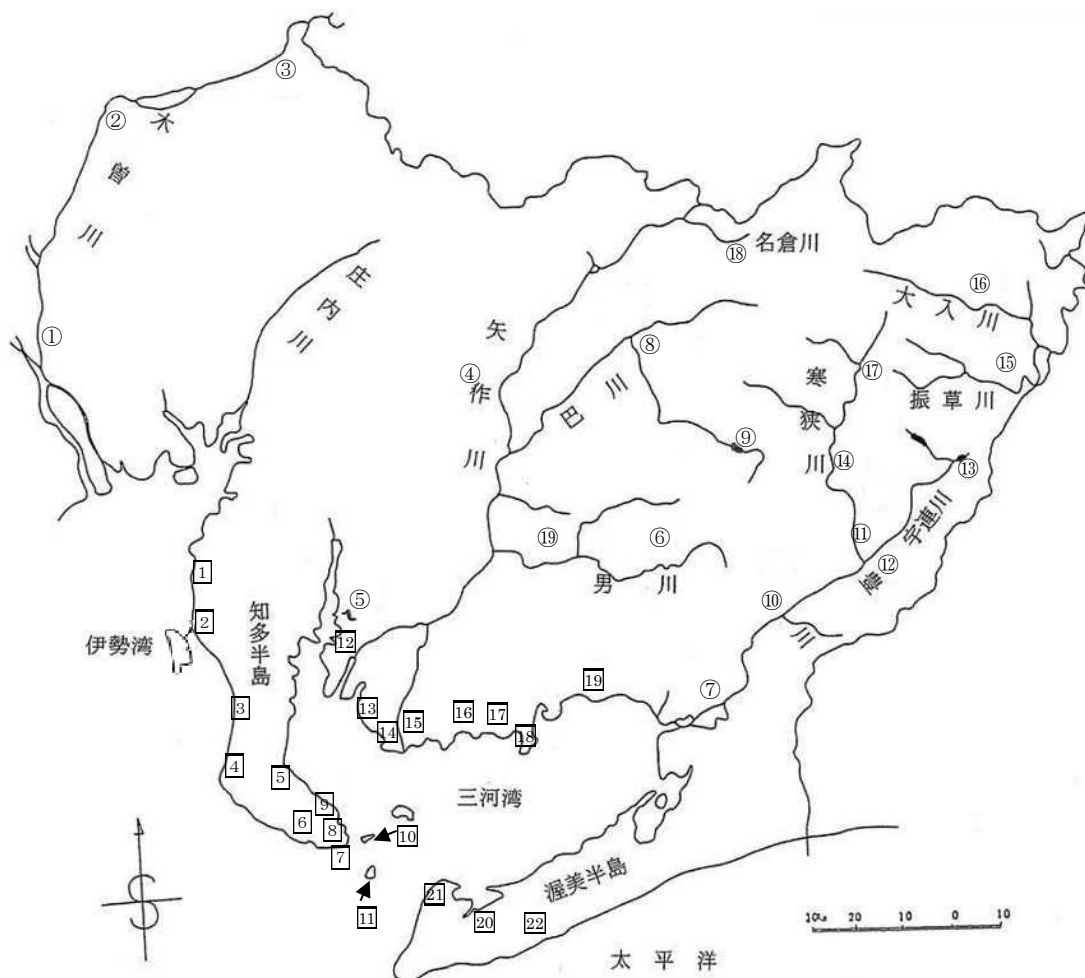
取扱数量：t
取扱金額：百万円
平均価格：円/kg

年		2012	2017	2018	2019	2020	2021
区分							
生鮮水産物	取扱数量	76,069	59,332	55,772	51,942	51,128	50,429
	取扱金額	58,141	57,270	55,648	53,627	49,088	49,706
	平均価格	764	965	998	1,032	960	986
冷凍水産物	取扱数量	27,756	20,344	20,573	19,334	19,020	18,880
	取扱金額	26,147	27,103	27,122	25,836	23,717	25,266
	平均価格	942	1,332	1,318	1,336	1,247	1,338
加工水産物	取扱数量	36,718	31,483	29,622	28,886	29,769	28,806
	取扱金額	30,816	30,793	30,806	29,359	29,033	28,448
	平均価格	839	978	1,040	1,016	975	988
加工食料品	取扱数量	16,318	13,550	13,184	13,490	11,864	12,091
	取扱金額	8,066	7,570	7,535	7,440	7,663	7,434
	平均価格	494	559	572	551	646	615
計	取扱数量	156,861	124,709	119,151	113,652	111,781	110,205
	取扱金額	123,170	122,736	121,111	116,262	109,501	110,853
	平均価格	785	984	1,016	1,023	980	1,006

資料：名古屋市中央卸売市場年報（名古屋市）

(付 属 資 料)

33 沿海漁業協同組合及び内水面漁業協同組合の位置図



沿海漁業協同組合

1	鬼崎	11	篠島	21	小中山
2	常滑	12	大濱	22	愛知外海
3	小鈴谷	13	西三河		
4	野間	14	衣崎		
5	美浜町	15	吉田		
6	豊浜	16	幡豆		
7	師崎	17	東幡豆		
8	片名	18	蒲郡		
9	大井	19	三谷		
10	日間賀島	20	渥美		

内水面漁業協同組合

①	立田	⑪	寒狭川下
②	木曾川	⑫	三輪川下
③	愛北	⑬	宇連川
④	矢作川	⑭	寒狭川中部
⑤	油ヶ渚	⑮	振草川
⑥	男川	⑯	大入川
⑦	下豊川	⑰	寒狭川上流
⑧	巴川	⑱	名倉川
⑨	三河湖	⑲	岡崎市
⑩	豊川上		

34 2022年度（2022年4月～2023年3月）の主な水産年譜

年	月	日	内 容
2022.	4.	1	愛知県信用漁業協同組合連合会が東日本信用漁業協同組合連合会へ合併
	4.	29	伊藤恵造氏（弥富金魚漁業協同組合代表理事組合長、（株）マルウ社長）黄綬褒章
	7.	5	藻類貝類養殖技術修練会（於半田市・アイブラザ半田）
	7.	10	金魚の学校（於弥富市・海南こどもの国）
	7.	26	海とお魚漁業体験教室（於蒲郡市・水産試験場）
	10.	1	金魚の学校（於安城市・デンパーク）
	10.	12	漁業士認定（於名古屋市・愛知県庁）
	10.	15	水産試験場公開デー（於蒲郡市・水産試験場）
	10.	24	第1回愛知県栄養塩管理検討会議（於名古屋市・水産会館）
	11.1	～3.31	水質の保全と「豊かな海」の両立に向けた社会実験の実施
	11.5	～6	金魚の学校（於弥富市・海南こどもの国）
	11.	18	小林俊雄氏（三谷漁業協同組合代表理事組合長）県条列表彰
	11.	22	山本昌弘氏（豊浜漁業協同組合代表理事組合長）一般社団法人大日本水産会水産功績者表彰
	11.	26	第17回伊勢・三河湾の環境と漁業を考える 「海の変化と水産資源の応答～人の手で対応できることは何か？～」（於岡崎市・西三河総合庁舎）
	12.	1	特定水産動植物等の国内流通の適正化等に関する法律の施行
2023	2.	28	令和4年度水産試験場研究発表会（於蒲郡市・水産試験場）

35 愛知県の水産業に関する地勢

項 目	数 量	出 典
海 岸 線 総 延 長	597 km	海岸統計 2021年度版（国土交通省河川局）
法 河 川 延 長	2,965 km	県建設局（2022年4月1日現在）
伊 勢 湾 面 積	1,738 km ²	伊勢湾、三河湾及び東京湾の形態と汚染負荷 （西条・宇野木、1979）
三 河 湾 面 積	604 km ²	

動向調査資料 No. 186 水産業の動き

2023年11月発行

愛知県農業水産局水産課

〒460-8501

名古屋市中区三の丸三丁目1-2

電話 (052) 961-2111 (代表) 内線 3783・3786
(052) 954-6458 (ダイヤル)

FAX (052) 951-1645

E-mail suisan@pref.aichi.lg.jp

Home page <https://www.pref.aichi.jp/suisan/>



あいちの四季の魚

